

昭和53年度 日本体育協会スポーツ科学研究報告

No. VIII わが国一流選手の育つ社会的背景

財団法人 日本体育協会

スポーツ科学委員会

昭和53年度 日本体育協会スポーツ科学研究報告

No. VIII わが国一流選手の育つ社会的背景

報告者 財) 日本体育協会スポーツ科学委員会「わが国一流選手の育つ社会的背景研究班」

班 長 桑 野 豊¹⁾

班 員 池 田 勝¹⁾ 石 田 啓²⁾ 市 村 操 一¹⁾
遠 藤 幸 雄³⁾ 加 賀 秀 夫¹⁾ 片 岡 暁 夫¹⁾
佐 伯 聡 夫¹⁾ 三本松 正 敏¹⁾ 清 和 洋 子⁴⁾
関 岡 康 雄¹⁾ 竹 本 正 男⁵⁾ 塚 脇 伸 作⁶⁾
手 島 昇⁷⁾ 栃 堀 中 二¹⁾

競技団体

調査協力者 村 木 征 人(陸 上) 長 沼 健 (サッカー)
田 口 信 教(水 泳) 伊 黒 正 次 (スキー)
出 町 豊 (バレー) 川 崎 義 治 (スキー)
佐 藤 宣 踐(柔 道) 星 野 仁 (スケート)
岩 本 宏 二(アイスホッケー) 鈴 木 恵 一 (スケート)

研究協力者 鈴 木 守¹⁾ 中 山 正 吉¹⁾ 古 屋 正 敏¹⁾
西 村 秀 樹¹⁾ 日 下 裕 弘¹⁾ 市 毛 哲 夫¹⁾
日 高 哲 朗¹⁾

担当研究員 伊 藤 静 夫⁸⁾

目 次

I 調査のねらい……………	2
II 調査の内容・対象・方法……………	2
III 調査結果	
1. 調査対象数と回収数及び集計について…	2
2. オリンピック選手の地域移動……………	3

3. オリンピック選手の職業と勤務先の規模及びその後の職業移動……………	3
4. オリンピック選手の教育歴……………	3
5. オリンピック選手の家族的背景の特性…	10
6. 種目別競技開始年齢, 出場年齢, 練習時間について……………	10
7. 競技種目の開始とその練習をめぐる状況について……………	17
8. 指導者について……………	23
9. 資金の援助……………	23
10. オリンピックに出場したことの社会的	

脚注 : 1) 筑波大学 2) 国士館大学 3) 日本大学
4) 中央大学 5) 日本体育大学 6) 早稲田大学
7) 日本女子体育大学 8) スポーツ科学研究所

影響	29
11. オリンピック選手の社会的寄与	29
12. オリンピック選手の意識	29
IV 調査結果の要約	42

I 調査のねらい

オリンピック選手の社会的背景や選手生活についての個人的意識を明らかにすることによって、わが国における一流選手の養成制度、一流選手の将来の保証、活かし方、並びに、オリンピックやアマチュアリズム、わが国におけるスポーツ政策などについての今後の課題を考える基礎資料を得る。

II 調査の内容・対象・方法

1. 調査の内容

- (1) オリンピック選手の個人的属性
 (性, 年令, 職業, 勤務先の規模, 教育歴, 家庭的条件など)
- (2) オリンピック選手の社会的移動
 ア. 地域移動
 イ. 職業移動
- (3) 練習をめぐる社会的条件
 ア. 競技開始年令
 イ. オリンピック選手になった年令
 ウ. 競技をはじめたいきさつ
 エ. 競技をはじめた動機
 オ. 練習のための主な集団基盤
 カ. 練習日数, 時間, 合宿日数, 国内外の試合回数
 キ. 授業(または職務)時間の便宜
 ク. 選手生活の悩み
- (4) 指導者
 ア. 指導者の有無
 イ. 指導者のスポーツ歴
 ウ. 指導者との結びつき
 エ. 指導者の指導形態
- (5) オリンピック出場にあたっての理解と協力について
- (6) オリンピックに出場したことの社会的影響
 ア. 人生にとって
 イ. 家庭生活にとって

ウ. 人間関係について

エ. 職業について

オ. 学業について

(7) オリンピック選手の社会的寄与

(8) オリンピック選手の意識

ア. 一流選手になった要因について

イ. 選手生活を遂行するうえでの社会的条件について

ウ. 能力を発揮するための重要な要件について

エ. 金銭や物質的利益と記録の向上について

オ. 将来の生活保障と記録の向上について

カ. 一流選手の養成について

キ. わが国のスポーツ政策について

ク. アマチュア制度について

ケ. オリンピックのあり方について

2. 調査の対象

わが国におけるオリンピック代表選手

3. 調査の時期

昭和53年10月～12月

4. 調査の方法

質問紙の郵送法による調査

(調査用紙は巻末に掲載したので参照された
い)

III 調査結果

1. 調査対象数と回収数及び集計について

調査対象数は、夏季大会では、日本が初めて選手を送った第5回ストックホルム大会(1912年)から第21回モントリオール大会(1976年)までのすべての代表選手、冬季大会では、第2回サンモリッツ大会(1928年)から第12回インスブルック大会(1976年)までのすべての代表選手、計1187名を対象とした。

集計にあたっては、オリンピック選手の時代的推移による変動をみるために表1のように時代区分をした。

調査票の配布及び回収状況は表2(P.4)に示すとおりである。

表1 オリンピック大会の時代区分

時代区分	年	夏季大会	冬季大会
1. 戦前	1912	第5回 スtockホルム	
	1920	7 アントワープ	
	1924	8 バリ	
	1928	9 アムステルダム	第2回 サンモリッツ
	1932	10 ロサンゼルス	3 レーク・プラシッド
	1936	11 ベルリン	4 ガルミッシュ・パルテンキルヘン
2. 戦後	1952	15 ヘルシンキ	6 オスロ
	1956	16 メルボルン	7 コルチナ・ダンペッツォ
	1960	17 ローマ	8 スコー・バレー
3. 東京オリンピック	1964	18 東京	9 インスブルック
4. 東京オリンピック以後	1968	19 メキシコ	10 グルノーブル
	1972	20 ミュンヘン	11 札幌
	1976	21 モントリオール	12 インスブルック

調査票の回収率は44.1%であるが、死亡、住所不明者を除くと回収率は60.9%になる。この調査のエネルギーの大半が、オリンピック選手の台帳づくりに費やされたことや、わが国における人口移動の激しさなどを考え合わせると、この種の調査の回収率としてはまずまずの成果と考えてよい。

2. オリンピック選手の地域移動

オリンピック選手の地域移動をみるため、オリンピック選手の出身地と出場時の居住地との関係、及び出身地と現住所との関係についてみた。

(1) オリンピック選手の出身地とオリンピック出場時の居住地との関係(表4, P.6~7)

表4からわかるように、オリンピック選手の出身地(都道府県)は、一般に全国的に分散しているが、オリンピック出場時の居住地は、東京を中心とする関東ブロックと大阪を中心とする京阪神ブロックに集約化される傾向が強い。とくに東京中心に集約化される傾向が強い。

(2) オリンピック選手の出身地と現住所との関係(表5, P.8・9)

「出身地と出場時の居住地との関係」とほぼ同様の傾向を示す。

(1), (2)の傾向からみて、オリンピック選手の出身地は全国的にちらばっているが、オリンピック

出場時には東京を中心とする都市部に集約化され、さらにその後の居住も一般に東京を中心とする都市部に集中していることがわかる。

一般に、オリンピック選手は、都市で育ち、出場後も都市で生活しているといっていよう。

3. オリンピック選手の職業と勤務先の規模及びその後の職業移動

(1) オリンピック出場時の選手の職業

男女とも大学生の占める割合が大きい。しかし、最近では、次第にその割合が低下し、それに代って製造業関係従事者が多くなり、東京オリンピック大会以後では大学生よりも製造業関係者の方が多くなっている(表3, P.5)。

(2) 勤務先の規模

男女とも大企業従事者が多い(表6, P.10)。

(3) オリンピック出場時の職業と現在の職業との関係

オリンピック出場時の職業では、学生と製造業関係及び教員の占める割合が高いが、その後の職業では製造業、教員、卸・小売などのサービス従事者が多くなっている(表7, P.11)。

4. オリンピック選手の教育歴

男女とも高等教育終了が約8割を占めている(表8, P.12)。

表 2 調査対象数と調査票回収数の一覧

出場競技名		時代区分																											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	
陸上		水泳	カ	ト	ボクシング	バレー	体操	バスケット	レスリング	ヨット	ウエリフティング	ハンドボール	自転車	馬術	柔道	フェンシング	射撃	近代五種	カヌー	アーチェリー	スキ	スケート	フィギア	アイスロン	ホッケー	ボブスレー			
配布数	1.戦前	230	59	50	8	27	15	6	—	7	4	6	3	—	—	5	—	—	—	—	—	20	9	—	—	11	—		
	2.戦後	272	36	57	14	20	12	4	—	21	12	20	5	8	—	6	3	—	2	—	—	18	12	—	—	17	—		
	3.東京オリンピック	271	54	32	16	22	12	6	22	17	7	11	11	3	—	12	9	6	11	—	2	—	9	3	—	2	4	—	
	4.東京オリンピック以後	414	28	42	4	21	10	11	39	14	28	30	7	16	27	8	7	10	11	—	6	—	7	42	17	—	7	22	10
小計		1187	177	181	42	90	49	27	61	59	51	67	26	27	26	24	16	27	—	10	—	7	89	41	—	9	54	10	
回収数	1.戦前	123	24	34	5	15	9	2	—	3	1	2	2	—	—	3	—	—	—	—	—	12	4	—	—	7	—		
	2.戦後	123	20	25	6	12	4	1	—	11	3	7	2	2	—	4	1	—	1	—	1	—	10	5	—	—	7	—	
	3.東京オリンピック	82	19	16	4	4	2	3	7	2	1	3	3	1	—	3	3	1	2	—	2	—	4	—	—	1	1	—	
	4.東京オリンピック以後	195	13	17	3	11	5	4	13	4	4	17	6	9	13	5	4	5	3	—	4	—	5	20	11	—	4	9	6
小計		523	76	92	18	42	20	10	20	20	9	29	13	12	13	12	11	6	6	—	7	—	5	46	20	—	5	25	6
回収率 (%)		44.142.950.842.946.740.837.032.833.917.643.350.044.448.146.245.837.522.2—70.0—71.451.748.8—55.646.360.0																											
注	死亡	89	28	30	6	8	0	2	0	0	0	3	0	1	0	1	8	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	住所不明	240	32	32	3	20	7	12	8	4	10	17	3	5	5	5	2	4	0	1	0	1	15	24	0	3	21	1	1

表3 オリンピック出場時の職業(%)

性別	出場時の職業			時代区分													
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
			N	農 業	林 業	漁 業	工 業	建 設	製 造 業	卸 売 ・ 小 売	金 融 ・ 保 険	不 動 産	運 輸 ・ 通 信	マ ス コ ミ	電 ガ ス ・ 水 気 道	サ ー ビ ス	公 務 員
男 子	1. 戦前	108 100.0		0.9	—	—	—	0.9	7.4	—	—	0.9	0.9	0.9	—	0.9	2.8
	2. 戦後	108 100.0		1.9	0.9	—	1.9	0.9	18.5	2.8	0.9	—	3.7	1.9	—	0.9	5.6
	3. 東京オリンピック	71 100.0		—	—	—	2.8	1.4	22.5	2.8	4.2	—	4.2	1.4	1.4	—	1.4
	4. 東京オリンピック以後	160 100.0		—	—	—	0.6	1.3	26.9	0.6	2.5	0.6	1.3	—	—	2.5	1.9
	小計	447 100.0		0.7	0.2	—	1.1	1.1	19.5	1.3	1.8	0.4	2.2	0.9	0.2	1.3	2.9
女 子	1. 戦前	15 100.0		—	—	—	—	—	—	6.7	—	—	—	—	—	—	—
	2. 戦後	15 100.0		—	—	—	—	—	—	6.7	—	—	—	—	—	—	6.7
	3. 東京オリンピック	11 100.0		—	—	—	—	—	18.2	—	—	—	—	—	—	—	—
	4. 東京オリンピック以後	35 100.0		—	—	—	—	2.9	28.6	—	2.9	—	—	—	—	2.9	2.9
	小計	76 100.0		—	—	—	—	1.3	15.8	2.6	1.3	—	—	—	—	1.3	2.6
計		523 100.0		0.6	0.2	—	1.0	1.1	18.9	1.5	1.7	0.4	1.9	0.8	0.2	1.3	2.9

性別	出場時の職業			時代区分													
				15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
			N	教 員	警 官	自 衛 官	そ の 他 の 員	小 学 生	新 制 中 学 生	旧 制 中 学 生	新 制 高 校 生	旧 制 高 校 生	大 学 生	大 学 院 生	無 職	そ の 他	無 記 不 明
男 子	1. 戦前	108 100.0		2.8	—	2.8	—	—	—	4.6	—	13.9	48.1	0.9	2.8	6.5	1.9
	2. 戦後	108 100.0		5.6	0.9	—	0.9	—	—	0.9	1.9	—	41.7	1.9	1.9	3.7	0.9
	3. 東京オリンピック	71 100.0		—	—	8.5	1.4	—	—	—	1.4	—	32.4	—	1.4	12.7	—
	4. 東京オリンピック以後	160 100.0		8.8	3.1	5.6	1.9	—	—	—	2.5	—	26.3	1.3	—	11.9	0.6
	小計	447 100.0		5.1	1.3	4.0	1.1	—	—	1.3	1.6	3.4	36.2	1.1	1.3	8.7	0.9
女 子	1. 戦前	15 100.0		6.7	—	—	—	—	—	40.0	—	13.3	—	—	6.7	20.0	6.7
	2. 戦後	15 100.0		6.7	—	—	—	—	6.7	—	20.0	—	26.7	—	—	20.0	6.7
	3. 東京オリンピック	11 100.0		18.2	—	—	—	—	—	—	—	—	9.1	—	—	54.5	—
	4. 東京オリンピック以後	35 100.0		8.6	—	—	—	—	5.7	—	8.6	—	17.1	—	2.9	14.3	2.9
	小計	76 100.0		9.2	—	—	—	—	3.9	7.9	7.9	2.6	14.5	—	2.6	22.4	3.9
計		523 100.0		5.7	1.1	3.4	1.0	—	0.6	2.3	2.5	3.3	33.1	1.0	1.5	10.7	1.3

表4 出身地とオリンピック出場時の居住地との関係（夏季）

出場時の居住地 N		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
		北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京都	神奈川県	新潟	富山	石川	福井	山梨	長野
出身地	(421)	4	2	2	2	3	2	2	3	—	2	12	11	206	26	1	—	5	1	1	1
1	北海道	13	3	1								1		7	1						
2	青森	7	1											5							
3	岩手	5		2										2	1						
4	宮城	6		1				2						2		1					
5	秋田	13				3						1	1	8							
6	山形	6				2								3							
7	福島	7						2				1	1	2	1						
8	茨城	6												4							
9	栃木	5										1		2							
10	群馬	6	1								1			4							
11	埼玉	4										2		1							
12	千葉	5											3	2							
13	東京都	59								1		1	1	49	5						
14	神奈川県	12												3	7						
15	新潟	9										1		6	1						
16	富山	3												1	1						
17	石川	14												5				5		1	
18	福井	1																1			
19	山梨	2										1		1							
20	長野	3												1							
21	岐阜	5												1							
22	静岡県	26												14							
23	愛知	22												11	2					1	
24	三重	3												2							
25	滋賀	1																			
26	京都	13												3							
27	大阪	15												2							
28	兵庫	20												6	1						
29	奈良	4												1							
30	和歌山	9												5							
31	鳥取	2												1							
32	島根	5												2							
33	岡山	10												6							
34	広島	22						1						10	3						
35	山口	7												2							
36	徳島	3										1		1							
37	香川	7										1		4	1						
38	愛媛	4											1	1							
39	高知	5												2							
40	福岡	12												6	1						
41	佐賀	—																			
42	長崎	6										1		1	1						
43	熊本	11												4							
44	大分	5												4							
45	宮崎	6												3							
46	鹿児島	3										1		1							
47	沖縄	—																			
48	その他	—																			
49	N. A.	9										3		5							

21 22 岐 静 卓 岡	23 24 愛 三 知 重	25 26 滋 京 賀 都	27 28 大 兵 阪 庫	29 30 奈 和 歌 良 山	31 32 鳥 島 取 根	33 34 岡 広 山 島	35 36 山 徳 口 島	37 38 香 愛 川 媛	39 40 高 福 知 岡	41 42 佐 長 賀 崎	43 44 熊 大 本 分	45 46 宮 鹿 児 島	47 48 沖 そ の 縄 他	49 N ・ A
3 11	15 5	2 15	25 10	7 5	— —	1 6	3 —	1 1	2 14	— 1	3 —	2 1	— —	2
		1												
							1							
											1			
			1			1								
			1											
1	1		1								1			
			1						1					
		1 1	1											
		1	1											
3	8	1 2		1					1					
	7 1			1										
1		10												
	1 1	1	9 3 8	1					1 1					
	1	1		3 2										
			2	1					1					
	1		1	1		1 1 4			2					1
	1 1		1	1			2							
				1				1 1						
			1						2 1 3			1		
	1								1	1				
		1	2						2		1	1 1		
1			2								1			1
	1													

表5 出身地と現住所との関係（夏季）

出身地	現住所		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	N	(421)	北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京都	神奈川県	新潟	富山	石川	福井	山梨	長野
			6	3	2	2	5	3	5	9	1	4	21	13	122	40	7	1	2	1	2	—
1	北海道	13	5											1	5							
2	青森	7		3										1	2	1						
3	岩手	5			2				2						3							
4	宮城	6				1				2				1	2							
5	秋田	13					5								4	2						
6	山形	6						3							3							
7	福島	7							5						1	1						
8	茨城	6								1				2	2							
9	栃木	5											2		1							
10	群馬	6									1	2			1							
11	埼玉	4											2	1		1						
12	千葉	5												2	3							
13	東京都	59							1		1		3	2	38	10						
14	神奈川県	12													3	8						
15	新潟	9											1	1	1	1	5					
16	富山	3													1		1					
17	石川	14											1		4	2			2			
18	福井	1																	1			
19	山梨	2													1						1	
20	長野	3																				
21	岐阜	5							1													
22	静岡県	26			1					1					6	1	1					
23	愛知県	22								1			1		6	1					1	
24	三重	3													1	1						
25	滋賀	1																				
26	京都	13													2	2						
27	大阪	15														1						
28	兵庫	20	1						1						1	1						
29	奈良	4																				
30	和歌山	9													1	1						
31	鳥取	2													1							
32	島根	5													1							
33	岡山	10							1		1		1		2	1	1					
34	広島	22							1				2		8	2						
35	山口	7											1									
36	徳島	3											1		2							
37	香川県	7																				
38	愛媛	4											1	1	3	1						
39	高知県	5											1									
40	福岡	12													2	1						
41	佐賀	—																				
42	長崎	6													2							
43	熊本	11											1	1	2	1						
44	大分	5													2							
45	宮崎	6																				
46	鹿児島	3											1									
47	沖縄	—																				
48	その他	—																				
49	N. A.	9													3							

21 22 岐 静 卓 岡	23 24 愛 三 知 重	25 26 滋 京 賀 都	27 28 大 兵 阪 庫	29 30 奈 和 歌 山 良 山	31 32 鳥 島 取 根	33 34 岡 広 山 島	35 36 山 徳 口 島	37 38 香 愛 川 媛	39 40 高 福 知 岡	41 42 佐 長 賀 崎	43 44 熊 大 本 分	45 46 宮 鹿 児 島 崎 島	47 48 沖 そ の 他	49 N. A.
6 15	19 7	1 13	25 23	6 6	— 1	3 9	3 1	2 4	1 9	2 2	2 1	4 3	— —	4
1			1											
		1					1							
			1											
	1		1	1			1							
1	2		1			1								
			1											
	1	1	2 1											
	2			1										
4	11	2 2	1						1					
	10	1	1	1										
1		6	3											
		3	8 2 3 8	2		1 1			1	1				
	1		1 1 2	3 3										
			2	1	1				1					
	1	2	1			2	5		1					
1	1 1		1				1 1							
			1					1	2					
			1 1			1		1	1	4	1			
	1							1		2				
		1	1						1			1 1 1 1	1 1 1 1	
1			1 1					1				2	1	
1												1		4

表6 オリンピック出場時の勤務先の規模（％）

性別	勤務先の規模		1	2	3	4	5
	時代区分	N	大 企 業	中 企 業	小 企 業	そ の 他	非 該 当
男 子	1. 戦 前	108 100.0	13.0	2.8	0.9	9.3	74.1
	2. 戦 後	108 100.0	33.3	8.3	1.9	5.6	50.9
	3. 東京オリンピック	71 100.0	49.3	7.0	2.8	2.8	38.0
	4. 東京オリンピック 以 後	160 100.0	41.9	5.6	6.3	1.9	44.4
	小 計	447 100.0	34.0	5.8	3.4	4.7	52.1
女 子	1. 戦 前	15 100.0	—	6.7	—	6.7	86.7
	2. 戦 後	15 100.0	33.3	—	—	—	66.7
	3. 東京オリンピック	11 100.0	63.6	9.1	—	—	27.3
	4. 東京オリンピック 以 後	35 100.0	34.3	11.4	5.7	2.9	45.7
	小 計	76 100.0	31.6	7.9	2.6	2.6	55.3
計		523 100.0	33.7	6.1	3.3	4.4	52.6

5. オリンピック選手の家族的背景の特性

(1) オリンピックに出場したときの家族（世帯主）の職業

表9（P.13）に示すように、職業の内容は分散化しているものの、男女とも製造業、卸・小売、農業が主なものとなっている。

(2) 家族（世帯主）の職業上の地位

「自営、企業主」が約半数を占め、次いで「一般従業員」「管理的立場」の順となっている（表10，P.14）。

(3) 父親、母親のスポーツ歴

ア. 男女とも、父親のスポーツ歴の「あり」が約3割程度となっており、母親のスポーツ歴「あり」では、男子選手で約10％、女子選手で約20％程度となっている（表11，P.14）。

イ. 男子選手と比べて、女子選手の方が、両親のスポーツ歴の「あり」の割合が高くなっている。

ウ. 両親のスポーツ歴のレベルは、せいぜい都道府県大会または市町村大会に出場した程度であり、そうレベルの高いものではない。

(4) 家族、親戚でのすぐれた選手の有無

全体的にみれば、「いなかった」が多いが、「すぐれた選手が身近にいた」と答えたものは男子選手約35％、女子選手約30％となっている（表12，P.15）。

6. 種目別競技開始年齢、出場年齢、練習時間について

種目別競技開始年齢、オリンピック出場年齢、練習時間量についてまとめたのが表13～15（P.16）

表7 オリンピック出場時の職業と現在の職業との関係(夏季)

現在の職業			1 農	2 林	3 漁	4 工	5 建	6 製	7 卸	8 金	9 不	10 運	11 マ	12 電	13 サ	14 公	
出場時の職業			業	業	業	業	設	造	売・小	融・保	動	輸・通	スコミ	ガス・水道	ービス	務	
N			421	2	2	2	4	9	99	34	5	9	7	16	2	18	9
1. 農	業	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2. 林	業	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3. 漁	業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4. 漁工	業	5	—	—	1	2	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—
5. 建築	業	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
6. 製造	業	74	1	—	—	—	2	54	4	—	2	—	1	—	—	—	1
7. 卸売	業	7	—	—	—	—	—	1	4	—	—	—	—	—	1	—	—
8. 金融	業	6	—	—	—	—	—	—	1	2	—	—	—	—	—	—	—
9. 不動産	業	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
10. 運輸	業	7	—	1	—	—	—	1	—	—	1	2	—	—	—	—	—
11. マス	コ	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	—	—	—	—
12. 電気	・ガス	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—
13. サ一	ビ	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	1
14. 公務	員	9	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	5
15. 警自	衛	28	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1
16. 警自	衛	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
17. その他	の公務	13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
18. 小	学	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
19. 新	制	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20. 旧	制	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
21. 旧	制	11	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—	1	—	1	—	—
22. 旧	制	8	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—
23. 旧	制	16	—	—	—	—	1	1	3	—	—	—	1	—	—	—	—
24. 旧	制	150	1	—	1	5	—	39	14	3	3	5	7	—	12	—	—
25. 大	学	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26. 大	学	7	—	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
27. 大	学	47	—	—	—	1	—	—	3	—	1	—	—	1	—	—	—
28. N. A.		4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

現在の職業			15 教	16 警	17 自	18 そ	19 小	20 新	21 旧	22 新	23 旧	24 大	25 大	26 無	27 そ	28 無
出場時の職業			員	官	衛	の他	学	中	中	制	制	学	学	職	の他	記不明
N			421	51	5	8	12	—	—	—	—	7	1	41	64	14
1. 農	業	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
2. 林	業	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3. 漁	業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4. 漁工	業	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5. 建築	業	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6. 製造	業	74	2	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	4	1	1
7. 卸売	業	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
8. 金融	業	6	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
9. 不動産	業	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10. 運輸	業	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—
11. マス	コ	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12. 電気	・ガス	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
13. サ一	ビ	5	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
14. 公務	員	9	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
15. 警自	衛	28	22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	1
16. 警自	衛	5	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
17. その他	の公務	13	—	—	8	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2	2
18. 小	学	4	1	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
19. 新	制	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—
20. 旧	制	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
21. 旧	制	11	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	1	1
22. 旧	制	8	1	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	2	—	—
23. 旧	制	16	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	4	1
24. 旧	制	150	12	—	—	5	—	—	—	—	—	3	1	10	24	4
25. 大	学	4	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
26. 大	学	7	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1	—
27. 大	学	47	4	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	8	24	4
28. N. A.		4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2	—

表8 オリンピック選手の教育歴(%)

性別	教育歴		1	2	3	4
	時代区分	N	義務 教 育	中 等 教 育	高 等 教 育	無 記 不 明
男 子	1. 戦 前	108 100.0	1.9	10.2	81.5	6.5
	2. 戦 後	108 100.0	5.6	9.3	85.2	—
	3. 東京オリンピック	71 100.0	2.8	21.1	74.6	1.4
	4. 東京オリンピック 以後	160 100.0	2.5	17.5	78.8	1.3
	小 計	447 100.0	3.1	14.3	80.3	2.2
女 子	1. 戦 前	15 100.0	—	66.7	26.7	6.7
	2. 戦 後	15 100.0	—	20.0	80.0	—
	3. 東京オリンピック	11 100.0	—	36.4	63.6	—
	4. 東京オリンピック 以後	35 100.0	2.9	34.3	60.0	2.9
	小 計	71 100.0	1.3	38.2	57.9	2.6
計		523 100.0	2.9	17.8	77.1	2.3

～18)である。

(1) 種目別競技開始年齢

ア. 競技開始年齢の平均は、男子約15歳、女子約14歳となっている。

イ. 競技開始年齢の早い種目とおそい種目

①男子

競技開始年齢の早い種目

競泳、サッカー、柔道、アーチェリー、スキー、ホッケーなど

(競技開始年齢10～12歳)

競技開始年齢のおそい種目

ボート、ボクシング、ヨット、馬術、近代五種、バイアスロン、ボブスレーなど

(競技開始年齢17～21歳)

②女子

競技開始年齢の早い種目

競泳、バスケット、スキー、スケートなど

(競技開始年齢9～13歳)

競技開始年齢のおそい種目

ヨット、フェンシング、アーチェリー、ボブスレーなど、

(競技開始年齢17～19歳)

(2) オリンピック出場年齢

ア. オリンピック出場年齢の平均は、男子23歳、女子20歳となっている。

イ. オリンピック出場年齢の低い種目と高い種目。

①男子

オリンピック出場年齢の低い種目

表9 オリンピック出場時の家族（世帯主）の職業（％）

性別	家族の職業		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	時代区分	N	農 業	林 業	漁 業	工 業	建 設 業	製 造 業	卸 売 ・ 小 売	金 融 ・ 保 険	不 動 産	運 輸 ・ 通 信	マ ス コ ミ
男 子	1. 戦前	108 100.0	16.7	0.9	1.9	0.9	5.6	8.3	9.3	3.7	0.9	3.7	1.9
	2. 戦後	108 100.0	6.5	0.9	4.6	1.9	1.9	24.1	13.9	4.6	—	2.8	1.9
	3. 東京オリンピック	71 100.0	9.9	2.8	1.4	1.4	2.8	8.5	18.3	—	—	1.4	—
	4. 東京オリンピック以後	160 100.0	15.0	—	0.6	2.5	11.3	19.4	12.5	1.9	0.6	1.3	—
	小計	447 100.0	12.5	0.9	2.0	1.8	6.3	16.1	13.0	2.7	0.4	2.2	0.9
女 子	1. 戦前	15 100.0	13.3	—	—	6.7	6.7	13.3	13.3	—	—	—	—
	2. 戦後	15 100.0	—	—	—	—	6.7	13.3	13.3	13.3	—	6.7	—
	3. 東京オリンピック	11 100.0	—	—	—	—	—	9.1	9.1	—	—	18.2	—
	4. 東京オリンピック以後	35 100.0	17.1	—	—	—	11.4	5.7	14.3	—	2.9	—	—
	小計	76 100.0	10.5	—	—	1.3	7.9	9.2	13.2	2.6	1.3	3.9	—
計		523 100.0	12.2	0.8	1.7	1.7	6.5	15.1	13.0	2.7	0.6	2.5	0.8

性別	家族の職業		12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
	時代区分	N	電 ガ ス ・ 水 気 道	サ ー ビ ス	公 務	教 員	警 官	自 衛 官	そ の 公 務 他 の 員	無 職	そ の 他	無 記 不 明
男 子	1. 戦前	108 100.0	0.9	0.9	2.8	5.6	0.9	2.8	1.9	12.0	17.6	0.9
	2. 戦後	108 100.0	0.9	3.7	2.8	8.3	—	—	5.6	3.7	9.3	2.8
	3. 東京オリンピック	71 100.0	—	7.0	2.8	8.5	—	4.2	4.2	8.5	15.5	2.8
	4. 東京オリンピック以後	160 100.0	—	3.1	2.5	2.5	2.5	3.1	3.1	6.9	8.1	3.1
	小計	447 100.0	0.4	3.4	2.7	5.6	1.1	2.5	3.6	7.6	11.9	2.5
女 子	1. 戦前	15 100.0	—	—	—	—	—	—	6.7	—	33.3	6.7
	2. 戦後	15 100.0	—	6.7	13.3	6.7	—	—	—	—	13.3	6.7
	3. 東京オリンピック	11 100.0	—	9.1	27.3	9.1	—	—	9.1	—	9.1	—
	4. 東京オリンピック以後	35 100.0	—	17.1	2.9	2.9	2.9	—	8.6	8.6	5.7	—
	小計	76 100.0	—	10.5	7.9	3.9	1.3	—	6.6	3.9	—	—
計		523 100.0	0.4	4.4	3.8	5.4	1.1	2.1	4.0	7.1	12.0	2.5

表10 家族（世帯主）の職業上の地位（％）

性別	家族の地位			1 自営企業主	2 管理的立場	3 一般従業員	4 臨時雇い	5 無職	6 その他	7 無記不明
	時代区分	N								
男子	1. 戦前	108 100.0		45.4	15.7	13.9	—	9.3	11.1	4.6
	2. 戦後	108 100.0		43.5	20.4	23.1	—	5.6	1.9	5.6
	3. 東京オリンピック	71 100.0		38.0	21.1	16.9	—	8.5	7.0	8.5
	4. 東京オリンピック以後	160 100.0		41.9	9.4	31.3	1.3	7.5	3.1	5.6
	小計	447 100.0		42.5	15.4	22.8	0.4	7.6	5.4	5.8
女子	1. 戦前	15 100.0		60.0	20.0	6.7	—	—	6.7	6.7
	2. 戦後	15 100.0		40.0	13.3	40.0	—	—	6.7	—
	3. 東京オリンピック	11 100.0		18.2	18.2	63.6	—	—	—	—
	4. 東京オリンピック以後	35 100.0		40.0	17.1	28.6	—	8.6	2.9	2.9
	小計	76 100.0		40.8	17.1	31.6	—	3.9	3.9	2.6
計		523 100.0		42.3	15.7	24.1	0.4	7.1	5.2	5.4

表11 父親，母親のスポーツ歴の有無（％）

性別	父親，母親のスポーツ歴			父 親			母 親		
	時代区分	N		1 あ り	2 な し	3 無記不明	1 あ り	2 な し	3 無記不明
男子	1. 戦前	108 100.0		13.9	86.1	—	4.6	91.7	3.7
	2. 戦後	108 100.0		38.9	61.1	—	13.9	86.1	—
	3. 東京オリンピック	71 100.0		39.4	59.2	1.4	5.6	93.0	1.4
	4. 東京オリンピック以後	160 100.0		33.8	65.6	0.6	12.5	86.9	0.6
	小計	447 100.0		31.1	68.5	0.4	9.8	88.8	1.3
女子	1. 戦前	15 100.0		13.3	86.7	—	6.7	93.3	—
	2. 戦後	15 100.0		46.7	53.3	—	26.7	73.3	—
	3. 東京オリンピック	11 100.0		36.4	63.6	—	18.2	81.8	—
	4. 東京オリンピック以後	35 100.0		42.9	57.1	—	25.7	74.3	—
	小計	76 100.0		36.8	63.2	—	21.1	78.9	—
計		523 100.0		31.9	67.7	0.4	11.5	87.4	1.1

表12 家族・親せきでのすぐれた選手の有無（％）

性別	家族・親せきでの すぐれた選手		1 い た	2 い な か っ た	3 無 記 不 明
	時代区分	N			
男子	1. 戦前	108 100.0	30.6	61.1	8.3
	2. 戦後	108 100.0	38.0	60.2	1.9
	3. 東京オリンピック	71 100.0	31.0	64.8	4.2
	4. 東京オリンピック以後	160 100.0	36.3	60.6	3.1
	小計	447 100.0	34.5	61.3	4.3
女子	1. 戦前	15 100.0	26.7	73.3	—
	2. 戦後	15 100.0	33.3	60.0	6.7
	3. 東京オリンピック	11 100.0	18.2	81.8	—
	4. 東京オリンピック以後	35 100.0	31.4	65.7	2.9
	小計	76 100.0	28.9	68.4	2.6
計		523 100.0	33.7	62.3	4.0

競泳、自転車など

（オリンピック出場年齢19～20歳）

オリンピック出場年齢の高い種目

ヨット、ハンドボール、馬術、柔道、フェンシング、近代五種、バイアスロンなど

（オリンピック出場年齢25～31歳）

②女子

オリンピック出場年齢の低い種目

競泳、飛びこみなど

（オリンピック出場年齢16～19歳）

オリンピック出場年齢の高い種目

バスケット、ヨットなど

（オリンピック出場年齢26～29歳）

(3) 競技開始年齢からオリンピック出場年齢までの期間について

ア. 競技開始年齢からオリンピック出場年齢までの期間は、平均では男子約8年、女子約7年ほどが必要となっている。

イ. 競技開始年齢からオリンピック出場年齢までの期間

①男子

期間の比較的長い種目

サッカー、ハンドボール、馬術、柔道、アーチェリー、スキー、スケート、ホッケーなど

（期間11～15年）

期間の比較的短い種目

飛び込み、ボート、ボクシング、レスリング、自転車、バイアスロンなど

（期間4～5年）

②女子

期間の比較的長い種目

バスケット、ヨット、スキー、スケートなど

（期間11～13年）

期間の比較的短い種目

競泳、フェンシング、アーチェリー、ボブスレーなど

（期間3～4年）

(4) 練習時間について

表13 種目別競技開始年齢・出場年齢・練習時間（男女計）（夏季）

競技種目 内容	1 陸 上	2 競 泳	3 と び こ み	4 水 球	5 サ ッ カ ー	6 ボ ー ル	7 ホ ッ ケ ー	8 ボ ク シ ン グ	9 バ レ ー	10 体 操	11 バス ケ ット	12 レス リン グ	13 ヨ ット	14 ウ リ フ ティ ン グ	15 ハン ド ボ ール
N	73	63	16	13	17	41	20	10	20	19	9	29	13	12	13
競技開始 年齢	15.95	12.52	15.31	14.92	12.41	17.80	16.10	17.10	14.15	14.79	13.00	16.93	17.15	16.92	14.69
N	75	61	16	13	18	41	19	10	20	20	9	29	13	12	13
出場年齢	23.31	19.03	20.44	22.85	23.72	21.88	23.16	21.70	22.75	23.95	23.44	23.07	28.77	24.25	23.54
N	70	63	16	13	18	41	20	9	19	20	9	29	13	12	13
練習時間	2.54	3.92	5.00	3.69	2.83	5.17	3.75	2.67	6.53	3.70	3.56	3.52	6.08	2.92	3.23

競技種目 内容	16 自 転 車	17 馬 術	18 柔 道	19 フェ ン シ ン グ	20 射 撃	21 近 代 五 種	22 カ ヌ ー	23 アー チ ェ リ ー	24 ス キ ー	25 ス ケ ー ト	26 フィ ギ ア	27 バイ ア ス ロン	28 ホ ッ ケ ー	29 ボ ブ ス レー	計
N	12	11	6	6	—	7	—	5	46	20	—	5	25	6	517
競技開始 年齢	16.00	18.73	11.00	16.83	—	21.86	—	13.80	10.93	10.15	—	21.20	11.84	18.33	14.74
N	12	11	6	6	—	7	—	5	46	20	—	5	25	6	518
出場年齢	20.67	31.82	26.17	24.67	—	28.71	—	21.60	22.76	21.20	—	26.40	23.88	22.50	22.87
N	11	9	6	6	—	7	—	5	44	20	—	5	24	6	508
練習時間	4.91	3.67	3.83	3.83	—	5.00	—	4.00	3.80	4.15	—	4.40	3.96	3.33	3.89

ア．練習時間の平均は男子 3.8 時間、女子 4.46 時間となっている。

イ．練習時間の長い種目と短い種目

①男子

練習時間の比較的長い種目

飛び込み、ボート、バレーボール、ヨット、近代五種など

（練習時間 5 ～ 6 時間）

練習時間の比較的短い種目

陸上、サッカー、ボクシング、ウェイトリフティング、ハンドボールなど

（練習時間 2 ～ 3 時間）

②女子

練習時間の比較的長い種目

バレーボール、飛び込み、バスケット、ヨットなど

（練習時間 5 ～ 8 時間）

練習時間の比較的短い種目

表14 種目別競技開始年齢・出場年齢・練習時間（男子）（夏季）

競技種目 内容	1 陸上	2 競泳	3 とびこみ	4 水球	5 サッカー	6 ボート	7 ホッケー	8 ボクシング	9 バレー	10 体操	11 バスケット	12 レスリング	13 ヨット	14 ウレティン グ	15 ハンドボ ール
N	62	45	8	13	17	41	20	10	13	13	8	29	12	12	8
競技開始 年齢	16.23	12.71	15.88	14.92	12.41	17.80	16.10	17.10	14.08	15.15	13.00	16.93	17.17	16.92	14.25
N	63	44	8	13	18	41	19	10	13	13	8	29	12	12	8
出場年齢	23.84	19.95	21.00	22.85	23.72	21.88	23.16	21.70	22.62	24.85	23.13	23.07	28.75	24.25	25.00
N	59	45	8	13	18	41	20	9	13	13	8	29	12	12	8
練習時間	2.42	3.80	5.00	3.69	2.83	5.17	3.75	2.67	5.62	3.54	3.38	3.52	5.92	2.92	2.50

競技種目 内容	16 自転車	17 馬術	18 柔道	19 フェン シング	20 射撃	21 近代五 種	22 カヌー	23 アーチ ェリー	24 スキー	25 スケート	26 フィギ ア	27 バイア スロン	28 ホッケー	29 ボブス レー	計
N	12	11	6	5	—	7	—	3	41	14	—	5	25	3	443
競技開始 年齢	16.00	18.73	11.00	16.40	—	21.86	—	11.00	10.88	10.57	—	21.20	11.84	18.00	14.93
N	12	11	6	5	—	7	—	3	41	14	—	5	25	3	443
出場年齢	20.67	31.82	26.17	25.00	—	28.71	—	22.00	22.85	21.50	—	26.40	23.88	23.67	23.29
N	11	9	6	5	—	7	—	3	39	14	—	5	24	3	434
練習時間	4.91	3.67	3.83	3.80	—	5.00	—	4.00	3.72	4.21	—	4.40	3.96	4.33	3.80

陸上、ボブスレーなど
（練習時間2～3時間）

7. 競技種目の開始とその練習をめぐる状況について

(1) 出場競技種目を練習しはじめたいきさつ、
動機

ア. いきさつ

男女とも「先生」「知人」「友人」に「すすめ

られた」あるいは「競技会をみて」の占める割合が高い。特に女子では「先生にすすめられた」が多い（表16，P.19）。

イ. 動機

男女とも「好きだから」、「なんとなく」が多く、ついで「一流選手になりたかったから」となっている（表17，P.19）。

(2) 練習のための集団基盤

ア. 種別

表15 種目別競技開始年齢・出場年齢・練習時間（女子）（夏季）

競技種目 内容	1 陸上	2 競泳	3 とびこみ	4 水球	5 サッカー	6 ボート	7 ホッケー	8 ボクシング	9 バレー	10 体操	11 バスケット	12 レスリング	13 ヨット	14 ウリフエイト	15 ハンドボール
N	11	18	8	—	—	—	—	—	7	6	1	—	1	—	5
競技開始年齢	14.36	12.06	14.75	—	—	—	—	—	14.29	14.00	13.00	—	17.00	—	15.40
N	12	18	8	—	—	—	—	—	7	6	1	—	1	—	5
出場年齢	20.50	16.65	19.88	—	—	—	—	—	23.00	22.29	26.00	—	29.00	—	21.20
N	12	18	8	—	—	—	—	—	7	6	1	—	1	—	5
練習時間	3.18	4.22	5.00	—	—	—	—	—	8.50	4.00	5.00	—	8.00	—	4.40

競技種目 内容	16 自転車	17 馬術	18 柔道	19 フェンシング	20 射撃	21 近代五種	22 カヌー	23 アーチェリー	24 スキー	25 スケート	26 フィギュア	27 バイアスロン	28 ホッケー	29 ボブスレー	計
N	—	—	—	1	—	—	—	2	5	5	—	—	—	3	74
競技開始年齢	—	—	—	19.00	—	—	—	18.00	11.40	9.17	—	—	—	18.67	13.61
N	—	—	—	1	—	—	—	2	5	5	—	—	—	3	75
出場年齢	—	—	—	23.00	—	—	—	21.00	22.00	20.50	—	—	—	21.33	20.37
N	—	—	—	1	—	—	—	2	5	5	—	—	—	3	74
練習時間	—	—	—	4.00	—	—	—	4.00	4.40	4.40	—	—	—	2.33	4.46

男女とも「私立の学校運動部」の占める割合が大きく、次いで「職場の運動部」となっている。

最近では、「学校運動部」の占める割合が減少し、「職場の運動部」の占める割合が増加の傾向にある。特に女子においてはこの傾向が強い（表18，P.20）。

イ．クラブ（運動部）の伝統

男女とも「極めて伝統のある運動部」が約50～60%，「かなり伝統のある運動部」が約20％程度

となっており，しかもこの傾向は年を追って強まる傾向を示している（表19，P.20）。

(3) 練習日数，練習時間，合宿日数，国内試合，国外試合の回数

ア．練習日数

男女とも戦前と比べて戦後の練習日数は，東京オリンピック大会を中心に増加の傾向を示し，1か年のうち延べ約10カ月が練習日となっている（表20，P.21）。

表16 競技を始めたいきさつ (%)

性別	いきさつ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	時代区分	N	親に られて すめ	兄 めら に す	友 めら に す	先 めら に す	知 めら に す	テ レ ビ を 見 て	新 聞 で 読 ん で 誌 を	競 技 を 見 て	そ の 他	無 記 不 明
男子	1. 戦前	108 100.0	1.9	2.8	22.2	11.1	23.1	—	2.8	15.7	17.6	2.8
	2. 戦後	108 100.0	5.6	4.6	21.3	17.6	18.5	—	2.8	9.3	18.5	1.9
	3. 東京オリンピック	71 100.0	2.8	5.6	16.9	21.1	15.5	1.4	1.4	11.3	23.9	—
	4. 東京オリンピック以後	160 100.0	6.9	5.0	11.9	21.3	16.3	5.0	3.1	15.0	15.0	0.6
	小計	447 100.0	4.7	4.5	17.4	17.9	18.3	2.0	2.7	13.2	17.9	1.3
女子	1. 戦前	15 100.0	—	13.3	—	66.7	6.7	—	—	6.7	6.7	—
	2. 戦後	15 100.0	13.3	—	—	40.0	6.7	—	—	20.0	20.0	—
	3. 東京オリンピック	11 100.0	9.1	—	—	45.5	18.2	—	—	18.2	—	9.1
	4. 東京オリンピック以後	35 100.0	14.3	2.9	11.4	42.9	2.9	2.9	—	5.7	17.1	—
	小計	76 100.0	10.5	3.9	5.3	47.4	6.6	1.3	—	10.5	13.2	1.3
計		523 100.0	5.5	4.4	15.7	22.2	16.6	1.9	2.3	12.8	17.2	1.3

表17 競技を始めた動機 (%)

性別	動機		1	2	3	4	5	6
	時代区分	N	す き だ か ら	能 み こ ん で を	一 流 選 手 に な り た か っ た	何 と な く	そ の 他	無 記 不 明
男子	1. 戦前	108 100.0	54.6	9.3	13.0	12.0	10.2	0.9
	2. 戦後	108 100.0	32.4	13.9	19.4	23.1	9.3	1.9
	3. 東京オリンピック	71 100.0	32.4	11.3	15.5	31.0	8.5	1.4
	4. 東京オリンピック以後	160 100.0	30.6	9.4	20.0	31.9	7.5	0.6
	小計	447 100.0	37.1	10.7	17.4	24.8	8.7	1.1
女子	1. 戦前	15 100.0	53.3	6.7	6.7	20.0	13.3	—
	2. 戦後	15 100.0	46.7	6.7	20.0	20.0	6.7	—
	3. 東京オリンピック	11 100.0	18.2	—	27.3	54.5	—	—
	4. 東京オリンピック以後	35 100.0	37.1	—	11.4	34.3	17.1	—
	小計	76 100.0	39.5	2.6	14.5	31.6	11.8	—
計		523 100.0	37.5	9.6	17.0	25.8	9.2	1.0

表18 練習のための主な集団基盤（％）

性別	練習場所		1	2	3	4	5	6	7	8
	時代区分	N	国立運動部	私立運動部	職場の運動部	公共スポーツクラブ	私的スポーツクラブ	営利的スポーツクラブ	その他	無記不明
男子	1. 戦前	108 100.0	26.9	46.3	4.6	0.9	—	2.8	13.0	5.6
	2. 戦後	108 100.0	20.4	50.0	12.0	1.9	0.9	0.9	11.1	2.8
	3. 東京オリンピック	71 100.0	7.0	54.9	21.1	2.8	—	1.4	9.9	2.8
	4. 東京オリンピック以後	160 100.0	6.9	41.3	31.3	2.5	1.9	4.4	11.3	0.6
	小計	447 100.0	15.0	46.8	18.6	2.0	0.9	2.7	11.4	2.7
女子	1. 戦前	15 100.0	13.3	40.0	—	13.3	6.7	—	26.7	—
	2. 戦後	15 100.0	33.3	20.0	13.3	6.7	—	6.7	—	20.0
	3. 東京オリンピック	11 100.0	—	45.5	45.5	—	—	—	9.1	—
	4. 東京オリンピック以後	35 100.0	2.9	28.6	37.1	11.4	17.1	—	2.9	—
	小計	76 100.0	10.5	31.6	26.3	9.2	9.2	1.3	7.9	3.9
計		523 100.0	14.3	44.6	19.7	3.1	2.1	2.5	10.9	2.9

表19 クラブ（運動部）の伝統（％）

性別	伝 統		1	2	3	4
	時代区分	N	極端に伝統ある	かなり伝統ある	その他	無記不明
男子	1. 戦前	108 100.0	46.3	19.4	10.2	24.1
	2. 戦後	108 100.0	53.7	18.5	13.0	14.8
	3. 東京オリンピック	71 100.0	63.4	19.7	7.0	9.9
	4. 東京オリンピック以後	160 100.0	56.9	18.8	15.6	8.8
	小計	447 100.0	54.6	19.0	12.3	14.1
女子	1. 戦前	15 100.0	33.3	6.7	46.7	13.3
	2. 戦後	15 100.0	40.0	26.7	20.0	13.3
	3. 東京オリンピック	11 100.0	45.5	18.2	27.3	9.1
	4. 東京オリンピック以後	35 100.0	45.7	25.7	25.7	2.9
	小計	76 100.0	42.1	21.1	28.9	7.9
計		523 100.0	52.8	19.3	14.7	13.2

表20 練習日数、練習時間、合宿日数、国内試合、国外試合

性 別	内 容 時代区分	① 練 習 日 数		② 練 習 時 間		③ 合 宿 日 数		④ 国 内 試 合		⑤ 国 外 試 合	
		N	平 均	N'	平 均	N''	平 均	N'''	平 均	N''''	平 均
男	1. 戦 前	98	242.26	100	3.42	84	83.93	82	16.01	77	3.58
	2. 戦 後	105	279.06	105	3.70	96	85.16	39	17.44	88	5.85
	3. 東京オリンピック	70	301.87	70	4.27	66	120.61	61	19.84	59	9.17
	4. 東京オリンピック以後	157	288.83	159	3.89	153	93.47	152	17.82	148	10.05
	小 計	430	277.95	434	3.80	399	93.95	388	17.66	372	7.58
女	1. 戦 前	14	274.07	15	3.67	8	19.75	9	7.44	8	1.00
	2. 戦 後	11	303.55	14	4.64	9	75.0	7	17.43	8	4.00
	3. 東京オリンピック	11	305.91	11	5.18	8	149.25	8	15.50	8	5.50
	4. 東京オリンピック以後	30	318.13	34	4.50	31	119.42	27	17.78	28	6.46
	小 計	66	304.32	74	4.46	56	102.30	51	15.55	52	5.10
計		496	281.46	508	3.89	455	94.98	439	17.42	424	7.28

表21 授業(勤務)時間の便宜について(%)

性 別		① 練 習 に つ い て					② 試 合 に つ い て					③ 合 宿 に つ い て				
		特 に 考 慮 し て も	考 え ら れ た	考 え な か つ た	そ の 他	無 記 不 明	特 に 考 慮 し て も	考 え ら れ た	考 え な か つ た	そ の 他	無 記 不 明	特 に 考 慮 し て も	考 え ら れ た	考 え な か つ た	そ の 他	無 記 不 明
男 子	1. 戦 前	6.5	30.6	52.8	1.9	8.3	9.3	35.2	42.6	0.9	12.0	8.3	40.7	37.0	5.6	8.3
	2. 戦 後	34.3	19.4	40.7	1.9	3.7	34.3	30.6	25.0	2.8	7.4	36.1	31.5	22.2	1.9	8.3
	3. 東京オリンピック	47.9	23.9	26.8	1.4	—	53.5	29.6	15.5	1.4	—	56.3	28.2	11.3	1.4	2.8
	4. 東京オリンピック以後	31.3	31.9	36.3	—	0.6	33.1	44.4	20.0	—	2.5	30.0	44.4	21.3	0.6	3.8
	小 計	28.6	27.3	39.8	1.1	3.1	30.9	36.5	26.0	1.1	5.6	30.4	37.8	23.7	2.2	5.8
女 子	1. 戦 前	20.0	26.7	40.0	—	13.3	26.7	53.3	6.7	—	13.3	20.0	33.3	6.7	20.0	20.0
	2. 戦 後	26.7	40.0	33.3	—	—	40.0	26.7	20.0	—	13.3	26.7	40.0	26.7	—	6.7
	3. 東京オリンピック	63.6	27.3	9.1	—	—	63.6	36.4	—	—	—	63.6	36.4	—	—	—
	4. 東京オリンピック以後	28.6	42.9	25.7	—	2.9	37.1	51.4	8.6	—	2.9	42.9	45.7	8.6	—	2.9
	小 計	31.6	36.8	27.6	—	3.9	39.5	44.7	9.2	—	6.6	38.2	40.8	10.5	3.9	6.6
計		29.1	28.1	38.0	1.0	3.3	32.1	37.7	23.5	1.0	5.7	31.5	38.2	21.8	2.5	5.9

イ. 練習時間

男女とも1日約4時間程度の練習時間量となっており、特に戦前と比べて東京オリンピック大会をピークに練習時間量はふえている(表20, P. 21)。

ウ. 合宿日数

戦前に比べて、戦後の合宿日数は大幅にふえており、特に東京オリンピック大会では、男子120日、女子149日に及んでいる。なお女子の合宿日数は戦前(約20日)に比べて大幅に増加している(表20, P. 21)。

エ. 国内試合

男女とも東京オリンピック大会期を中心に約15～20日程度の試合日数となっている(表20, P. 21)。

オ. 国外試合

男子約10日、女子約5日程度の国外試合日数をもつ(表20, P. 21)。

(注) 練習日数、国内・外の試合日数を合わせると、1か年の大部分は出場した競技種目にふりむけられていることになる。

(4) 授業(または勤務)時間の便宜供与や奨励金の有無について

ア. 練習・試合・合宿について

練習、試合、合宿ともに戦前に比べて戦後の方が「考慮してもらった」という人の割合が高い。とくに、東京オリンピック大会期では、男女ともその大半は「特に考慮してもらった」、「考慮してもらった」と答えている(表21, P. 22)。

イ. 奨励金の有無

男子で約2割、女子で約3割のものが奨励金を「もらった」と答えており、この「もらった」割合は東京オリンピック大会期が最も高い(男子31.0%, 女子45.5%)。奨励金の主な内容は、「授業料」、「栄養費」、「合宿費」などの補助である(表22, P. 24)。

(5) 選手生活の悩み

男女とも戦前に比べて戦後、とくに最近の大会になるほど選手生活の悩みは深刻化する傾向にある。

男子では「学業」、「経済的負担」、「技術の向上」など、女子では「技術の向上」、「練習上の人間関係」が主なものとなっている(表23)。

8. 指導者について

(1) 指導者の有無

男女とも、大部分は指導者をもっている。

(2) 指導者のスポーツ歴

大部分は、一流選手の経歴をもち(約70～80%), オリンピック出場経験者は約4割を占めている。

(3) 指導者との結びつき

男女とも、「クラブを通して」が主(約60%)となっているが、男子では、戦後は「協会からの派遣」が多くなっている。特に、東京オリンピックでは36.4%を占めている。

(4) 指導者の指導の形態

男女とも、「クラブ活動の中で」が過半数を占め、次いで「優秀選手の中で」、「マン・ツー・マンの形で」と続く。とくに、戦前に比べて、戦後は「優秀選手の中で」がふえる傾向にある。

(5) 指導法の主な特徴

男子は、やや「民主的」タイプが多いが、女子は、やや「専制的」タイプが多い。「放任的」は男女とも約1割程度である。

(6) 指導者の位置づけ

男女とも過半数(約50～55%)は、「助言者」としての位置づけとなっており、ついで、「偉大なる崇拜者として」(男子16%, 女子13%), 「親子同然」、「兄弟友人」としてのインティメートな結びつきは両者合わせて約2割程度である(表24)。

9. 資金の援助

(1) 資金援助の有無と程度

男子では約65%, 女子では約50%のものが、なんらかの「資金援助」が「あり」と答えている。

そして、その資金、援助の程度は「全面的」(約60%), 「かなり大きい援助」(約20%)となっている。

② 資金の出所

男女とも、その主なものは「後援会、協賛会」、「寄付金」、「競技団体からの補助」、「公費」などである。しかし、「家族の負担」もかなり大きい(表25)。

表22 奨励金の有無と内容(%)

奨励金 について 時代区分 性別			奨励金の有無			奨励金の内容									
			1. あり	2. なし	3. 無記不明	N	1. 入学金	2. 学費	3. 授業料	4. 合宿費	5. 栄養費	6. 小使い	7. 生活援助	8. その他	9. 無記不明
男	1. 戦前	108 100.0	9.3	88.9	1.9	10 100.0	—	—	20.0	30.0	30.0	—	—	—	30.0
	2. 戦後	108 100.0	15.7	80.6	3.7	17 100.0	—	11.8	47.1	5.9	35.3	—	5.9	5.9	23.5
	3. 東京オリンピック	71 100.0	31.0	66.2	2.8	22 100.0	—	4.5	27.3	9.1	45.5	—	—	—	18.2
	4. 東京オリンピック以後	160 100.0	18.8	78.8	2.5	30 100.0	6.7	13.3	56.7	13.3	16.7	—	—	3.3	10.0
女	小計	447 100.0	17.7	79.6	2.7	79 100.0	2.5	8.9	41.8	12.7	30.4	—	1.3	2.5	17.7
	1. 戦前	15 100.0	26.7	73.3	—	4 100.0	—	25.0	75.0	—	—	—	—	—	—
	2. 戦後	15 100.0	1 6.7	14 93.3	—	1 100.0	—	—	—	—	1 100.0	—	—	—	—
	3. 東京オリンピック	11 100.0	45.5	54.5	—	5 100.0	—	—	40.0	40.0	—	—	—	—	40.0
子	4. 東京オリンピック以後	35 100.0	37.1	62.9	—	13 100.0	—	—	23.1	15.4	15.4	7.7	7.7	—	38.5
	小計	76 100.0	30.3	69.7	—	23 100.0	—	4.3	34.8	17.4	13.0	4.3	4.3	—	30.4
	計	523 10.00	19.5	78.2	2.3	102 100.0	2.0	7.8	40.2	13.7	26.5	1.0	2.0	2.0	20.6

表23 選手生活上の悩みの有無と内容(%)

性別	時代区分	選手生活をjする上で特に悩んだこと	① 有			② 内 容										
			1 あり	2 なし	3 無記	1 進学	2 学業	3 生に安 対す	4 経済的 負担	5 社の 社会的 期待	6 技術の 向上	7 練習 上の係	8 社の 生活 で係	9 家の 生活 で係	10 そ の 他	11 無 記 不 明
男	1.戦前	108 100.0	29.6	66.7	3.7	9.4	21.9	6.3	21.9	3.1	9.4	3.1	3.1	3.1	3.1	15.6
	2.戦後	108 100.0	52.8	46.3	0.9	—	36.8	7.0	24.6	7.0	8.8	3.5	—	—	1.8	7.0
	3.東京オリンピック	71 100.0	59.2	39.4	1.4	—	31.0	7.1	4.8	9.5	19.0	7.1	4.8	—	7.1	9.5
	4.東京オリンピック以後	160 100.0	77.5	21.9	0.6	2.4	34.7	12.9	16.9	3.2	14.5	5.6	5.6	—	0.8	3.2
小計		447 100.0	57.0	41.4	1.6	2.4	32.9	9.8	17.3	5.1	13.3	5.1	4.7	0.4	2.4	6.7
女	1.戦前	15 100.0	40.0	60.0	—	—	—	—	—	16.7	50.0	—	16.7	—	—	16.7
	2.戦後	15 100.0	60.0	40.0	—	—	—	11.1	11.1	—	22.2	22.2	22.2	—	—	11.1
	3.東京オリンピック	11 100.0	72.7	27.3	—	—	—	—	12.5	12.5	37.5	25.0	—	—	—	12.5
	4.東京オリンピック以後	39 100.0	80.0	20.0	—	—	10.7	7.1	10.7	3.6	32.1	17.9	7.1	—	7.1	3.6
小計		76 100.0	67.1	32.9	—	—	5.9	5.9	9.8	5.9	33.3	17.6	9.8	—	3.9	7.8
計		523 100.0	58.5	40.2	1.3	2.0	28.4	9.2	16.0	5.2	16.7	7.2	5.6	0.3	2.6	6.9

表24 指導者 (%)

内 容			①指導者の有無			②指導者のスポーツ歴					③指導を受けたいきさつ					④指導の形態	
			1 あ り	2 な し	3 無 記 不 明	1 オ リ ン ピ ッ ク 出 場 者	2 一 流 選 手	3 ス ポ ー ツ 者	4 そ の 他	5 無 記 不 明	1 ク ラ ブ 通 じ て 活 動	2 協 会 か ら の	3 個 人 的 な き	4 そ の 他	5 無 記 不 明	1 マ マ ン ン グ ラ ブ イ ン	2 活 動 は 動 画 プ ラ マ
男	1. 戦前	108 100.0	65.7	32.4	1.9	35.2	40.8	16.9	5.6	1.4	53.5	7.0	15.5	16.9	7.0	11.3	62.0
	2. 戦後	108 100.0	80.6	18.5	0.9	39.1	43.7	14.9	3.4	1.1	69.0	14.9	9.2	4.6	2.3	17.2	58.6
	3. 東京オリンピック	71 100.0	93.0	7.0	—	29.3	50.0	16.7	6.1	—	50.0	36.4	3.0	10.6	—	18.2	39.4
	4. 東京オリンピック以後	160 100.0	85.6	12.5	1.9	48.9	32.1	13.1	5.8	—	62.8	16.8	10.9	9.5	—	11.7	60.6
	小 計	447 100.0	80.8	17.9	1.3	39.9	39.9	15.0	5.3	0.6	60.1	18.0	10.0	10.0	1.9	14.1	56.5
女	1. 戦前	15 100.0	100.0	—	—	26.7	13.3	53.3	6.7	6.7	46.7	6.7	40.0	6.7	—	20.0	46.7
	2. 戦後	15 100.0	73.3	20.0	6.7	27.3	54.5	27.3	—	—	63.6	—	18.2	18.2	—	27.3	72.7
	3. 東京オリンピック	11 100.0	100.0	—	—	36.4	45.5	18.2	—	—	54.5	—	9.1	27.3	9.1	36.4	36.4
	4. 東京オリンピック以後	37 100.0	100.0	—	—	31.4	42.9	22.9	2.9	—	65.7	17.1	2.9	11.4	2.9	8.6	54.3
	小 計	76 100.0	94.7	3.9	1.3	30.6	38.9	29.2	2.8	1.4	59.7	9.7	13.9	13.9	2.8	18.1	52.8
計		523 100.0	82.8	15.9	1.3	38.3	39.7	17.3	4.8	0.7	60.0	16.6	10.6	10.6	2.1	14.8	55.9

内 容		④指導の形態			⑤指導の主な特徴					⑥指導者との結びつき					
		3 優中 秀で 選手の	4 そ の 他	5 無 記 不 明	1 専 制 的	2 民 主 的	3 放 任 的	4 そ の 他	5 無 記 不 明	1 親 子 同 然	2 兄 弟、 友 人	3 偉 大 な 崇 拝	4 助 言 者	5 そ の 他	6 無 記 不 明
性 別	時 代 区 分	N													
男	1. 戦 前	108 100.0	14.1	8.5	4.2	35.2	39.4	8.5	8.5	9.9	12.7	19.7	45.1	8.5	4.2
	2. 戦 後	108 100.0	21.8	2.3	—	41.4	41.4	8.0	8.0	9.2	18.4	14.9	49.4	5.7	2.3
	3. 東京オリンピック	71 100.0	39.4	3.0	—	40.9	48.5	6.1	4.5	10.6	4.5	22.7	53.0	9.1	—
	4. 東京オリンピック以後	160 100.0	25.5	2.2	—	33.6	43.1	14.6	8.0	10.0	13.9	11.7	54.7	8.8	0.7
女	小 計	447 100.0	26.7	3.6	0.8	37.1	42.9	10.2	7.5	10.0	13.0	16.1	51.2	8.0	1.7
	1. 戦 前	15 100.0	26.7	6.7	—	46.7	33.3	6.7	6.7	13.3	20.0	—	40.0	20.0	6.7
	2. 戦 後	15 100.0	—	—	—	36.4	63.6	—	—	18.2	—	18.2	63.6	—	—
	3. 東京オリンピック	11 100.0	9.1	9.1	9.1	45.5	36.4	—	9.1	18.2	18.2	9.1	36.4	9.1	9.1
子	4. 東京オリンピック以後	37 100.0	34.3	2.9	—	42.9	34.3	14.3	2.9	8.6	2.9	17.1	65.7	2.9	2.9
	小 計	76 100.0	23.6	2.8	2.8	43.1	38.9	8.3	4.2	12.5	8.3	12.5	55.6	6.9	4.2
	計	523 100.0	24.7	3.5	1.2	38.1	42.3	9.9	6.9	10.4	12.2	15.5	52.0	7.9	2.1

表25 資金の援助 (%)

性別	時代区分	N	① 有 無			② 程 度				
			1 あ り	2 な し	3 無 記 不 明	1 全 面 的	2 か な り 大 き な	3 一 部	4 そ の 他	5 無 記 不 明
男 子	1. 戦 前	108 100.0	61.1	26.9	12.0	51.5	16.7	16.7	4.5	10.6
	2. 戦 後	108 100.0	63.9	26.9	9.3	71.0	11.6	10.1	2.9	4.3
	3. 東京オリンピック	71 100.0	49.3	42.3	8.5	57.1	14.3	20.0	5.7	2.9
	4. 東京オリンピック 以後	160 100.0	75.0	18.1	6.9	52.5	24.2	15.0	5.8	2.5
	小 計	447 100.0	64.9	26.2	8.9	57.2	18.3	14.8	4.8	4.8
女 子	1. 戦 前	15 100.0	40.0	46.7	13.3	83.3	16.7	—	—	—
	2. 戦 後	15 100.0	53.3	40.0	6.7	50.0	25.0	12.5	—	12.5
	3. 東京オリンピック	11 100.0	18.2	27.3	54.5	100.0	—	—	—	—
	4. 東京オリンピック 以後	35 100.0	62.9	17.1	20.0	45.5	36.4	13.6	—	4.5
	小 計	76 100.0	50.0	28.9	21.1	55.3	28.9	10.5	—	5.3
計		523 100.0	62.7	26.6	10.7	57.0	19.5	14.3	4.3	4.9

性別	時代区分	N	③ 資 金 の 出 所							
			1 公 費	2 競 技 団 体	3 後協 援費 会会	4 寄 付 金	5 指 導 者 個 人	6 家 族 の 負 担	7 そ の 他	8 無 記 不 明
男 子	1. 戦 前	108 100.0	30.4	37.5	35.7	37.5	—	58.9	10.7	3.6
	2. 戦 後	108 100.0	31.3	34.4	54.7	48.4	3.1	35.9	7.8	4.7
	3. 東京オリンピック	71 100.0	37.5	28.1	34.4	15.6	—	21.9	15.6	9.4
	4. 東京オリンピック 以後	160 100.0	40.0	34.5	44.5	50.0	10.9	55.5	12.7	4.5
	小 計	447 100.0	35.5	34.4	43.9	42.7	5.3	47.3	11.5	5.0
女 子	1. 戦 前	15 100.0	—	16.7	50.0	16.7	—	16.7	16.7	33.3
	2. 戦 後	15 100.0	42.9	42.9	57.1	14.3	—	42.9	—	28.6
	3. 東京オリンピック	11 100.0	100.0	50.0	100.0	—	—	—	—	—
	4. 東京オリンピック 以後	35 100.0	38.1	33.3	28.6	28.6	9.5	52.4	19.0	19.0
	小 計	76 100.0	36.1	33.3	44.4	22.2	5.6	47.1	13.9	22.2
計		523 100.0	35.6	34.2	44.0	40.3	5.4	46.6	11.7	7.0

10. オリンピックに出場したことの社会的影響

(1) 人生にとっての影響

男子では約65%, 女子では約60%のものは「プラスになった」と答えている。しかし、この傾向は、戦前、戦後に比べて、最近では次第に減少の傾向を示し、とくに、女子の東京オリンピック大会以後では「どちらともいえない」が「プラスになった」よりも高率を示す。

プラスの内容としては、男子は、「自信」「人生経験に役立った」、「世界的視野」、「友人や知人を得た」などが高率を示し、女子では、「人生経験に役立った」、「自信」、「忍耐強くなった」、「対人関係に役立った」、「就職に役立った」などが高率を示している(表26, P. 30)。

(2) 家庭生活への影響

男子では約35%, 女子では約40%のものが「プラスになった」と肯定的評価を示す。しかし、大半は「どちらともいえない」という消極的評価となっている。特に、戦前に比べて、最近の大会ほど消極的評価が増加する傾向にある。

プラスの内容では、男子は、「子どもへの影響」、「家族の名誉」、「スポーツへの関心を高めた」、「健康で明るい家庭」などが比較的高率を示し、女子は、「健康で明るい家庭」、「家族の名誉」、「収入や家業にプラス」、「スポーツへの関心を高めた」などがあげられる(表27, P. 31)。

(3) 人間関係への影響

男子では56%, 女子では34%のものが「人間関係にプラスになった」と答えている。しかし、この傾向は戦前に比べて戦後、東京オリンピック大会、東京オリンピック大会以後となるに従って男女とも低下の傾向を示す。

プラスの内容については、男子は「友人や知人がふえた」、「人間関係がよくなった」、「尊敬する人がふえた」、「信用を増した」などが比較的高率を示し、女子は「人間関係がよくなった」、「友人や知人がふえた」などが比較的高率を示す(表28, P. 32)。

(4) 職業への影響

男女とも、約2割程度が「職業に役立った」と答えているにすぎない。しかも、最近の大会になるにつれて「どちらともいえない」がふえる傾向

にある。

プラスの関係では、男子は「就職に役立った」、「営業活動に役立った」、「信用を高めた」などがあげられ、女子では「就職に役立った」が高率を示している(表29, P. 33)。

(5) 学業への影響

「プラスになった」と答えた人は、男子で約10%, 女子で約15%程度であり、大半は、「どちらともいえない」となっている。特に最近の大会ほど、男女とも、積極的肯定は減少の傾向を示す(表30, P. 34)。

11. オリンピック選手の社会的寄与

男子では約6割、女子では約5割のものがなんらかの形で社会的寄与をしている。

その主な内容は「スポーツの指導」及び「スポーツ団体の役員」などがある(表31, P. 34)。

12. オリンピック選手の意識

(1) オリンピック選手となった要因について

ア. 素質か練習か

男女とも、約4割は「素質」をあげ、約6割は「練習」によるものと考えている(表32, P. 35)。

イ. 本人の努力か社会的援助か

約9割は「本人の努力」を強調している(表32)。

ウ. 経済的援助か精神的援助か

「経済的援助」を強調するものは約45%, 「精神的援助」を強調するものは約50%と相半ばしている。

但し、男子は一般に戦前よりも最近の大会になるにつれて「経済的援助」を求める傾向が強まる。それに対して、女子は一般に戦前よりも「精神的援助」を求める傾向が強くなる傾向を示す(表32)。

(2) オリンピック選手になるまでの社会的条件

ア. 経済的援助

男子では約28%, 女子では46%のものが「恵まれた」と答えている程度である(表33, P. 36)。

イ. 精神的援助

男女とも約半数(男子49%, 女子51%)のものが「恵まれた」と答えている(表33)。

ウ. 練習時間

表26 オリンピックに出場したことの人生への影響 (%)

性別	時代区分	N	① 効 罪					② プラスの内容					
			1 プラスになった	2 マイナ スになっ た	3 どい ちらも 言えな い	4 プラス になった マイナ ス	5 N ・ A	1 人生経 験に役 立	2 自信を もつよう になった	3 忍耐強 くなった	4 責任感 が強くな った	5 自律心 やプライ ドがで きた	6 判断力 ができた
男子	1. 戦前	108 100.0	65.7	0	24.1	0	10.2	22.5	19.7	5.6	2.8	12.7	0
	2. 戦後	108 100.0	74.1	0	14.8	0	11.2	13.8	25.0	7.5	6.3	11.3	1.3
	3. 東京オリンピック	71 100.0	60.0	2.8	26.8	0	9.9	20.9	25.6	7.0	9.3	4.7	0
	4. 東京オリンピック以後	160 100.0	59.4	0	26.3	0	14.4	14.7	35.5	4.2	4.2	3.2	0
	小計	447 100.0	64.7	0.4	23.0	0	11.9	17.3	25.6	5.9	5.2	8.0	0.3
女子	1. 戦前	15 100.0	73.3	0	20.0	0	6.7	36.4	9.1	27.3	0	9.1	0
	2. 戦後	15 100.0	80.0	0	20.0	0	0	25.0	41.7	25.0	8.3	8.3	0
	3. 東京オリンピック	11 100.0	54.5	0	27.3	0	18.2	33.3	50.0	0	16.7	0	0
	4. 東京オリンピック以後	35 100.0	48.6	0	40.0	0	11.4	35.3	29.4	5.9	0	0	5.9
	小計	35 100.0	60.5	0	30.3	0	9.2	32.6	30.4	15.2	4.3	4.3	2.2
計		523 100.0	64.1	6.4	24.1	0	11.5	19.4	26.3	7.2	5.1	7.5	0.6

性別	時代区分	N	② プラスの内容											
			7 将来の 希望	8 健康に 役立った	9 技術の 進歩	10 世界的 視野	11 対人関 係に役 立	12 社会的 名声	13 友人や 知人を得 た	14 就職に 役立った	15 社会的 地位の向 上	16 その他	17 不明	18 N ・ A
男子	1. 戦前	108 100.0	2.8	2.8	9.9	7.0	7.0	7.0	7.0	4.2	4.2	2.8	9.9	0
	2. 戦後	108 100.0	3.8	3.8	0	8.8	8.8	11.3	7.5	6.3	2.5	2.5	10.0	0
	3. 東京オリンピック	71 100.0	2.3	0	0	2.3	9.3	2.3	18.6	9.3	4.7	0	2.3	0
	4. 東京オリンピック以後	160 100.0	3.2	0	3.2	13.7	3.2	5.3	8.4	11.6	3.2	1.0	4.2	0
	小計	447 100.0	3.5	1.7	1.7	9.7	6.6	6.9	9.3	8.0	3.5	1.4	6.9	0
女子	1. 戦前	15 100.0	0	9.1	0	0	9.1	0	9.1	9.1	0	0	9.1	0
	2. 戦後	15 100.0	0	0	0	0	25.0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 東京オリンピック	11 100.0	0	16.7	0	0	0	16.7	0	0	0	0	0	0
	4. 東京オリンピック以後	35 100.0	5.9	0	0	5.9	5.9	0	0	23.5	0	0	0	0
	小計	76 100.0	2.2	4.3	0	2.2	10.9	2.2	2.2	10.9	0	0	2.2	2.2
計		523 100.0	3.3	2.1	1.5	8.7	7.2	6.3	8.4	8.4	3.0	1.2	6.3	0.3

表27 オリンピックに出場したことの家庭生活への影響(%)

性別		時代区分		家庭生活への影響		① 効 果					② プ ラ ス の 内 容										
						1 プラスになった	2 マイナーになった	3 どちらともいえ	4 プラス・マイナス	5 N	1 健康で明るい家	2 スポーツを始めた	3 スポーツを生活	4 親孝行ができた	5 子供への影響が強い	6 家族からの尊敬	7 収入や家業にプラス	8 家族の名誉	9 その他	10 不明	11 N
男	1. 戦前	108	100.0			46.3	1.9	41.7	0	10.2	16.0	16.0	4.0	2.0	20.0	14.0	2.0	14.0	14.0	14.0	0
	2. 戦後	108	100.0			45.4	4.6	40.7	0	9.3	22.4	12.2	2.0	0	20.4	8.2	4.1	24.5	4.1	10.2	0
	3. 東京オリンピック	71	100.0			32.4	8.5	54.9	0	4.2	13.0	8.7	0	8.7	34.8	13.0	4.3	21.7	8.7	4.3	0
	4. 東京オリンピック以後	160	100.0			20.0	7.5	65.6	0	6.9	6.3	12.5	6.3	6.3	9.4	0	0	9.4	31.3	18.8	0
女	小計	447	100.0			34.5	5.6	52.1	0	7.8	15.6	13.0	3.2	3.2	20.1	9.1	2.6	17.5	13.6	12.3	0
	1. 戦前	15	100.0			80.0	0	20.0	0	0	16.7	8.3	8.3	8.3	0	8.3	16.7	0	33.3	8.3	0
	2. 戦後	15	100.0			46.7	20.0	20.0	0	13.3	42.9	0	0	0	14.3	0	0	28.6	14.3	14.3	0
	3. 東京オリンピック	11	100.0			27.3	0	45.5	0	27.3	0	0	0	0	0	0	0	0	66.7	33.3	0
子	4. 東京オリンピック以後	35	100.0			22.9	5.7	68.6	0	2.9	12.5	25.0	12.5	0	0	0	12.5	25.0	12.5	0	0
	小計	76	100.0			39.5	6.6	46.1	0	7.9	20.0	10.0	6.7	3.3	3.3	3.3	10.0	13.3	26.7	10.0	0
	計	523	100.0			35.2	5.7	51.2	0	7.9	16.3	12.5	3.8	3.3	17.4	8.2	3.8	16.8	15.8	12.0	0

表28 オリンピックに出場したこととの人間関係への影響 (%)

性 別		人間関係への影響 時 代 区 分		① 効 果					② プ ラ ス の 内 容											
				1 プラスになった	2 マイナスになった	3 どちらでもない	4 プラス・マイナス	5 N	1 人な 間関 係が 良く	2 友え 人た や知 人が ふ	3 話 題が ふえ た	4 尊え 敬た する 人が ふ	5 信 用を 増し た	6 頭し 張り 屋の イメ	7 指 導的 立 場	8 自し 分の 行動 をつ	9 他 人 の 刺 激	10 そ の 他	11 不 明	12 N
男 子	1. 戦 前	108 100.0	70.4	0.9	20.4	0	8.3	19.7	31.6	5.3	21.1	11.8	0	6.6	6.6	0	2.6	10.5	0	
	2. 戦 後	108 100.0	76.9	0	22.2	0	0.9	19.3	36.1	2.4	15.7	15.7	0	2.4	2.4	1.2	6.0	10.8	1.2	
	3. 東京オリンピック	71 100.0	53.5	2.8	39.4	0	4.2	28.9	28.9	5.3	7.9	23.7	2.6	2.6	2.6	7.9	2.6	5.3	0	
	4. 東京オリンピック以後	160 100.0	33.8	0.6	60.0	0	5.6	13.0	40.7	1.9	22.2	18.5	0	3.7	0	5.6	1.9	5.6	0	
	小 計	447 100.0	56.2	0.9	38.0	0	4.9	19.5	34.7	3.6	17.5	16.3	0.4	4.0	3.2	2.8	3.6	8.8	0.4	
女 子	1. 戦 前	15 100.0	73.3	0	20.0	6.7	0	33.3	25.0	0	8.3	8.3	8.3	8.3	0	0	0	16.7	8.3	
	2. 戦 後	15 100.0	46.7	13.3	26.7	0	13.3	42.9	42.9	0	0	0	0	0	0	14.3	0	14.3	0	
	3. 東京オリンピック	11 100.0	18.2	9.1	54.5	0	18.2	50.0	0	0	0	50.0	0	0	0	0	0	0	0	
	5. 東京オリンピック以後	35 100.0	17.1	2.9	74.3	0	5.7	16.7	50.0	0	0	0	16.7	0	0	16.7	0	16.7	0	
	小 計	447 100.0	34.2	5.3	51.3	1.3	7.9	33.3	33.3	0	3.7	7.4	7.4	3.7	0	7.4	0	14.8	3.7	
計		523 100.0	53.0	1.5	40.0	0.2	5.3	20.9	34.5	3.2	16.2	15.5	1.1	4.0	2.9	3.2	3.2	9.4	0.7	

表29 オリンピックに出場したことの職業への影響 (%)

職業への影響 時代区分		① 効 罪					② プ ラ ス の 内 容												
		1 プラスになった	2 マイナスになった	3 どちらともいえない	4 プラス・マイナス	5 N	1 就職に役立った	2 創意・工夫を生かした	3 活動力をかわれた	4 知名度を高めた	5 信用を高めた	6 指導力を評価された	7 昇給昇進	8 収入がふえた	9 営業活動にプラス	10 その他	11 不明	12 N	
男	1. 戦前	108 100.0	39.8	3.7	31.5	17.6	7.5	14.5	8.1	3.2	9.7	14.5	3.2	1.6	0	14.5	1.6	6.5	30.6
	2. 戦後	108 100.0	41.7	4.6	35.2	13.0	5.6	25.4	5.1	3.4	11.9	8.5	3.4	6.8	0	6.8	5.1	10.2	23.7
	3. 東京オリンピック	71 100.0	33.8	8.5	35.2	19.7	2.8	23.7	10.5	2.6	5.3	2.6	0	5.3	5.3	10.5	0	7.9	36.8
	4. 東京オリンピック以後	160 100.0	22.5	6.9	50.0	13.1	7.5	24.6	5.3	0	0	8.8	1.8	10.5	1.8	8.8	1.8	3.5	36.8
	小計	447 100.0	33.1	5.8	39.6	15.2	6.2	21.8	6.9	2.3	6.9	9.3	2.3	6.0	0.5	10.2	2.3	6.9	31.5
女	1. 戦前	15 100.0	26.7	0	6.7	53.3	13.3	16.7	8.3	0	0	0	8.3	0	8.3	0	0	0	66.7
	2. 戦後	15 100.0	40.0	6.7	33.3	13.3	6.7	12.5	0	0	0	12.5	0	12.5	0	12.5	12.5	25.0	25.0
	3. 東京オリンピック	11 100.0	27.3	9.1	54.5	0	9.1	66.7	33.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. 東京オリンピック以後	35 100.0	20.0	2.9	51.4	22.9	2.9	33.3	0	0	0	0	6.7	0	0	0	6.7	0	53.3
	小計	76 100.0	26.3	3.9	39.5	23.7	6.6	26.3	5.3	0	0	2.6	5.3	2.6	2.6	5.3	5.3	5.3	47.4
計		523 100.0	32.1	5.5	39.6	16.4	6.3	22.4	6.7	2.0	5.9	8.3	2.8	5.5	0.8	9.1	2.8	6.7	33.9

表30 学 業 へ の 影 響 (%)

性 別	時 代 区 分	学業への影響 N	1 プ ラ ス に な っ た	2 マ イ ナ ス に な っ た	3 ど ち ら い と も い え な い	4 プ ラ ス ・ マ イ ナ ス	5 N ・ A
男 子	1. 戦 前	108 100.0	16.7	13.9	31.5	15.7	22.2
	2. 戦 後	108 100.0	13.0	15.7	18.5	28.7	24.1
	3. 東京オリンピック	71 100.0	2.8	12.7	21.1	38.0	25.4
	4. 東京オリンピック以後	160 100.0	5.0	8.8	30.6	33.1	22.5
	小 計	447 100.0	9.4	12.3	26.4	28.6	23.2
女 子	1. 戦 前	15 100.0	33.3	6.7	13.3	33.3	13.4
	2. 戦 後	15 100.0	26.7	13.3	20.0	33.3	6.7
	3. 東京オリンピック	11 100.0	9.1	0	27.3	9.1	54.5
	4. 東京オリンピック以後	35 100.0	2.9	14.3	25.7	34.3	22.9
	小 計	76 100.0	14.5	10.5	22.4	30.3	22.3
計		523 100.0	10.1	12.0	25.8	28.9	23.2

表31 オリンピック選手の社会的寄与とその内容 (%)

性 別	時 代 区 分	オリンピック選手の 社会的寄与 N	① 有 無			② そ の 内 容					
			1 あ り	2 な し	3 N ・ A	1 ス ポ ー ツ の 指 導	2 ス ク ラ ブ の 経 営	3 マ ス コ ミ 関 係	4 ス ポ ー ツ の 団 体 員	5 そ の 他	6 N ・ A
男 子	1. 戦 前	108 100.0	74.1	23.1	2.8	48.0	1.0	5.0	44.0	2.0	0
	2. 戦 後	108 100.0	73.1	25.0	1.9	50.0	7.0	5.0	32.0	6.0	1.0
	3. 東京オリンピック	71 100.0	64.8	35.2	0	68.0	3.0	3.0	20.0	5.0	0
	4. 東京オリンピック以後	160 100.0	58.8	39.4	1.9	82.0	3.0	1.0	12.0	2.0	0
	小 計	447 100.0	66.9	31.3	1.8	60.0	3.0	4.0	29.0	4.0	0
女 子	1. 戦 前	15 100.0	66.7	33.3	0	54.0	0	0	46.0	0	0
	2. 戦 後	15 100.0	66.7	26.7	6.7	75.0	0	0	25.0	0	0
	3. 東京オリンピック	11 100.0	45.5	54.5	0	83.0	0	0	17.0	0	0
	4. 東京オリンピック以後	35 100.0	42.9	51.4	5.7	79.0	0	0	16.0	5.0	0
	小 計	76 100.0	52.6	43.4	3.9	72.0	0	0	26.0	2.0	0
計		523 100.0	64.8	33.1	2.1	62.0	3.0	3.0	28.0	3.0	0

表32 オリンピック選手になった要因(%)

性別	時代区分	オリンピック選手になった要因		① 素質か練習か			② 努力か社会的援助か			③ 経済的援助か 精神的援助か		
				1 素 質	2 練 習	3 両 方	1 本 人 の 努 力	2 社 会 的 援 助	3 両 方	1 経 済 物 的 援 助	2 精 神 的 援 助	3 両 方
男 子	1. 戦前	108 100.0		32.4	55.6	12.0	92.6	2.8	4.6	22.2	63.9	13.9
	2. 戦後	108 100.0		43.5	50.0	6.5	91.7	7.4	0.9	43.5	52.8	3.7
	3. 東京オリンピック	71 100.0		42.3	52.1	5.6	83.1	15.5	1.4	60.6	35.2	4.2
	4. 東京オリンピック以後	160 100.0		34.4	63.1	2.5	85.6	11.9	2.5	56.9	39.4	3.8
	小計	447 100.0		37.4	56.4	6.3	88.4	9.2	2.5	45.9	47.9	6.3
女 子	1. 戦前	15 100.0		60.0	40.0	0	100.0	0	0	46.7	46.7	6.7
	2. 戦後	15 100.0		40.0	53.3	6.7	93.3	6.7	0	53.3	46.7	0
	3. 東京オリンピック	11 100.0		27.3	72.7	0	90.9	9.1	0	36.4	54.5	9.1
	4. 東京オリンピック以後	35 100.0		42.9	54.3	2.9	91.4	8.6	0	40.0	51.4	8.6
	小計	76 100.0		43.4	53.9	2.6	93.4	6.6	0	43.4	50.0	6.6
計		523 100.0		38.2	56.0	5.7	89.1	8.8	2.1	45.5	48.2	6.3

第33 オリンピック選手になるまでの社会的条件 (%)

性別	時代区分	オリンピック選手になるまでの社会的条件	① 経済的条件				② 精神的援助				③ 練習時間				④ 国際試合の経験				⑤ 適切な指導			
			1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
男	1. 戦前	108 100.0	28.7	61.1	8.3	1.9	57.4	37.0	0.9	4.6	57.4	35.2	2.8	4.6	29.6	20.4	44.4	5.6	50.0	26.9	16.7	6.5
	2. 戦後	108 100.0	26.9	49.1	24.1	—	63.0	32.4	3.7	0.9	59.3	31.5	9.3	—	34.3	26.9	38.9	—	57.4	30.6	11.1	0.9
	3. 東京オリンピック	71 100.0	38.0	53.5	8.5	—	42.3	53.5	4.2	—	71.8	26.8	1.4	—	45.1	22.5	32.4	—	67.6	23.9	8.5	—
	4. 東京オリンピック以後	160 100.0	24.4	58.1	17.5	—	38.1	51.9	8.8	1.3	62.5	29.4	7.5	0.6	43.1	25.6	31.3	—	56.9	30.0	12.5	0.6
	小計	477 100.0	28.2	55.9	15.4	0.4	49.4	43.8	4.9	1.8	62.0	30.9	5.8	1.3	38.0	24.2	36.5	1.3	57.0	28.4	12.5	2.0
女	1. 戦前	15 100.0	46.7	53.3	—	—	53.3	46.7	—	—	73.3	26.7	—	—	40.0	6.7	20.0	33.3	—	73.3	20.0	2.0
	2. 戦後	15 100.0	46.7	46.7	6.7	—	40.0	46.7	13.3	—	66.7	33.3	—	—	26.7	40.0	33.3	—	53.3	33.3	13.3	—
	3. 東京オリンピック	11 100.0	54.5	45.5	—	—	63.6	36.4	—	—	100.0	—	—	—	63.6	27.3	9.1	—	100.0	—	—	—
	4. 東京オリンピック以後	35 100.0	42.9	54.3	2.9	—	51.4	37.1	11.4	—	62.9	28.6	8.6	—	45.7	14.3	40.0	—	68.6	20.0	11.4	—
	小計	76 100.0	46.1	51.3	2.6	—	51.3	40.8	7.9	—	71.1	25.0	3.9	—	43.4	19.7	30.3	6.6	71.1	19.7	9.2	—
計		523 100.0	30.8	55.3	13.6	0.4	49.7	43.4	5.4	1.5	63.3	30.0	5.5	1.1	38.8	23.5	35.6	2.1	59.1	27.2	12.0	1.7

表34 能力を発揮するために最も重要と思われる条件 (%)

性別	条 件		1	2	3	4	5	6	7	8	9
			意欲・精神力	経済的・物的援助	精神的援助	国際試合の経験	練習時間	指導	将来の保証	その他	無記不明
男	1. 戦前	108 100.0	86.1	0.9	0.9	3.7	0.9	1.9	0.9	—	4.6
	2. 戦後	108 100.0	83.3	0.9	—	2.8	2.8	5.6	3.7	—	0.9
	3. 東京オリンピック	71 100.0	69.0	2.8	1.4	5.6	7.0	4.2	5.6	2.8	1.4
	4. 東京オリンピック以後	160 100.0	69.4	5.0	—	8.1	3.8	3.8	8.1	1.9	—
	小 計	447 100.0	76.7	2.7	0.4	5.4	3.4	3.8	4.9	1.1	1.6
女	1. 戦前	15 100.0	93.3	—	—	—	—	6.7	—	—	—
	2. 戦後	15 100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	3. 東京オリンピック	11 100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	4. 東京オリンピック以後	35 100.0	62.9	—	2.9	5.7	2.9	14.3	8.6	—	2.9
	小 計	76 100.0	81.6	—	1.3	2.6	1.3	7.9	3.9	—	1.3
計		523 100.0	77.4	2.3	0.6	5.0	3.1	4.4	4.8	1.0	1.5

表35 能力の発揮と金銭、物質的利益、生活保障 (%)

性別	内 容		① 能力の発揮と金銭・物質的利益				② 能力の発揮と生活の保障			
			1 賛 成	2 反 対	3 どちら もない も	4 無記 不明	1 賛 成	2 反 対	3 どちら もない も	4 無記 不明
男	1. 戦前	108 100.4	16.7	40.7	38.9	3.7	32.4	27.8	36.1	3.7
	2. 戦後	108 100.0	46.3	21.3	31.5	0.9	68.5	12.0	19.4	—
	3. 東京オリンピック	71 100.0	47.9	12.7	39.4	—	67.6	5.6	25.4	1.4
	4. 東京オリンピック以後	160 100.0	66.9	8.1	23.8	1.3	75.0	5.0	18.8	1.3
	小 計	447 100.0	46.8	19.9	31.8	1.6	62.0	12.3	24.2	1.6
女	1. 戦前	15 100.0	33.3	13.3	46.7	6.7	53.3	—	40.0	6.7
	2. 戦後	15 100.0	20.0	13.3	66.7	—	66.7	—	33.3	—
	3. 東京オリンピック	11 100.0	9.1	18.2	72.7	—	45.5	9.1	45.5	—
	4. 東京オリンピック以後	35 100.0	34.3	5.7	60.0	—	62.9	5.7	31.4	—
	小 計	76 100.0	27.6	10.5	60.5	1.3	59.2	3.9	35.5	1.3
計		523 100.0	44.0	18.5	35.9	1.5	61.6	11.1	25.8	1.5

表36 一流選手の養成について(%)

内 容		選手養成の ①受けとめ方			② 「変えた方がよい」の内容																										
		1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25		
男	子	性 別		時代区分																											
1.	戦 前	108	100.0	53.7	26.9	19.4	10.3	8.6	17.2	3.4	5.2	8.6	1.7	—	6.9	3.4	1.7	3.4	—	3.4	10.3	—	8.6	1.7	1.7	3.4	—	3.4	19.0	3.4	—
		108	100.0	67.6	20.4	12.0	5.5	—	9.6	8.2	9.6	4.1	2.7	1.4	5.5	4.1	4.1	12.3	—	4.1	5.5	1.4	5.5	—	1.4	8.2	2.7	1.4	17.8	8.2	1.4
		71	100.0	73.2	22.5	4.2	1.9	3.8	3.8	13.5	5.8	9.6	1.9	9.6	5.8	3.8	7.7	3.8	—	—	9.6	3.8	1.9	3.8	1.9	1.9	3.8	5.8	11.5	5.8	—
		160	100.0	73.8	18.1	8.1	2.5	5.9	3.4	11.0	11.0	14.4	6.8	2.5	8.5	2.5	6.8	5.9	2.5	1.7	9.3	2.5	2.5	—	0.8	3.4	10.2	0.8	7.6	2.5	—
		447	100.0	67.3	21.5	11.2	4.7	4.7	7.6	9.3	8.6	10.0	4.0	3.0	7.0	3.3	5.3	6.6	1.0	2.3	8.6	2.0	4.3	1.0	1.3	4.3	5.3	2.3	13.0	4.7	0.3
2.	戦 後	15	100.0	53.3	6.7	40.0	12.5	12.5	—	—	25.0	—	—	—	12.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12.5	25.0	—
		15	100.0	73.3	—	26.7	—	—	—	18.2	—	—	—	9.1	9.1	—	—	9.1	—	—	18.2	9.1	—	—	—	9.1	—	—	9.1	18.2	—
		11	100.0	63.6	9.1	27.3	—	—	—	14.3	—	—	—	—	14.3	28.6	14.3	14.3	—	14.3	—	—	—	14.3	—	—	—	—	—	14.3	—
		35	100.0	74.3	14.3	11.4	—	7.7	3.8	7.7	—	23.1	3.8	—	7.7	11.5	3.8	15.4	3.8	3.8	7.7	3.8	—	—	—	3.8	—	—	—	7.7	—
		76	100.0	68.4	9.2	22.4	1.9	5.8	1.9	9.6	3.8	11.5	1.9	1.9	9.6	9.6	3.8	11.5	1.9	3.8	—	3.8	—	—	1.9	3.8	—	—	7.7	9.6	—
小 計	523	100.0	67.5	19.7	12.8	4.2	4.8	6.8	9.3	7.9	10.2	3.7	2.8	7.4	4.2	5.1	7.4	1.1	2.5	8.5	2.3	3.7	0.8	1.4	4.2	4.5	2.0	12.2	5.4	0.3	

表37 わが国のスポーツ政策について(%)

内 容		② 「1. あ り」の 内 容																																					
		①スポーツ政策に望むこと																																					
性 別	時代区分	1	2	3	あ	な	り	し	明	無	記	不	明	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	
		人間性の確立	選手生活の保障	国際試合援助	選手づくり強化	少数精鋭主義	幅広いスポーツ	教育制度改善	指導者の生活保障	指導者の制度化	指導者の養成機関	国家的援助強化	入賞者優遇措置	運営強化費増大	スポーツ行政改革	普及したスポーツ政策	地方分権主義	地域スポーツ	クラブ	援助格差是正	選手養成機関	選手立	式立	式立	式立	式立	式立	式立	式立	式立	式立	式立	式立	式立	式立	式立	式立	式立	式立
男	1. 戦 前	108	100.0	63.0	21.3	15.7	1.5	—	1.5	2.9	—	7.4	4.4	2.9	5.9	7.4	13.2	1.5	1.5	22.1	4.4	1.5	4.4	2.9	—	1.5	—	11.8	22.1	5.9	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2. 戦 後	108	100.0	69.4	22.2	8.3	—	14.7	4.0	8.0	4.0	4.0	5.3	9.3	5.3	4.0	13.3	—	2.7	22.7	1.3	1.3	1.3	1.3	5.3	1.3	—	13.3	9.3	5.3	1.3	—	—	—	—	—	—		
	3. 東京オリンピック ピック	71	100.0	67.6	25.4	7.0	—	16.7	2.1	2.1	4.2	—	4.2	6.3	4.2	4.2	18.8	4.2	4.2	8.3	4.2	2.1	2.1	2.1	—	4.2	—	14.6	10.4	4.2	—	—	—	—	—	—	—		
	4. ピック以後	160	100.0	72.5	22.5	5.0	—	0.9	22.4	7.8	2.6	—	3.4	—	6.9	4.3	1.7	15.5	2.6	1.7	14.7	4.3	0.9	1.7	4.3	1.7	1.7	13.8	9.5	3.4	—	—	—	—	—	—	—		
	小 計	447	100.0	68.7	22.6	8.7	0.7	14.7	4.6	3.9	1.6	3.9	2.9	6.5	4.9	3.9	15.0	2.0	2.3	17.3	3.6	1.3	2.3	2.9	2.0	2.0	0.7	13.4	12.4	4.6	0.3	—	—	—	—	—	—	—	
女	1. 戦 前	15	100.0	46.7	20.0	33.3	—	—	—	—	14.3	—	14.3	14.3	—	—	28.6	—	—	14.3	—	—	—	—	—	—	—	—	14.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	2. 戦 後	15	100.0	60.0	13.3	26.7	—	—	—	—	—	—	—	—	22.2	—	11.1	—	—	—	11.1	—	—	—	—	—	—	11.1	—	33.3	22.2	11.1	—	—	—	—	—	—	
	3. 東京オリンピック ピック	11	100.0	45.5	27.3	27.3	—	40.0	—	20.0	—	—	—	—	—	—	—	20.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40.0	—	20.0	—	—	—	—	—	—	
	4. ピック以後	35	100.0	65.7	20.0	14.3	—	21.7	4.3	8.7	—	—	—	4.3	4.3	—	21.7	4.3	4.3	—	8.7	—	—	—	—	—	—	—	17.4	—	4.3	—	—	—	—	—	—		
	小 計	76	100.0	57.9	19.7	22.4	—	15.9	2.3	6.8	2.3	—	2.3	4.5	6.8	—	18.2	4.5	2.3	6.8	—	—	—	—	—	—	—	—	20.5	6.8	6.8	—	—	—	—	—	—	—	
計		523	100.0	67.1	22.1	10.7	0.6	14.8	4.3	4.3	1.7	3.4	2.8	6.3	5.1	3.4	15.4	2.3	2.3	15.4	4.0	1.1	2.3	3.1	1.7	2.3	0.6	14.2	11.7	4.8	0.3	—	—	—	—	—	—	—	

表38 アマチュア制度についての考え方(%)

内 容		② 「1. 考えた方がよい」の内容																
		① アマチュア制度の受けとめ方																
		1 変えたほうがよい	2 今のままでよい	3 無記不明	1 明確・アマ協会	2 アマチュア制度	3 アマチュア制度	4 柔軟性を持たせ	5 金銭的援助を認め	6 スポンサー制度	7 プロと交流	8 アマチュア制度	9 プロ的体制確立	10 世界の流れに沿	11 その他	12 不 明	13 無 記	
時代区分		N																
男	1. 戦前	108 100.0	36.1	50.0	13.9	15.4	30.8	5.1	2.6	2.6	5.1	10.3	5.1	10.3	2.6	17.9	—	
	2. 戦後	108 100.0	43.5	45.4	11.1	6.4	4.3	23.4	19.1	14.9	2.1	10.6	2.1	12.8	6.4	10.6	—	
	3. 東京オリンピック	71 100.0	47.9	46.5	5.6	14.7	2.9	32.4	11.8	17.6	2.9	2.9	2.9	2.9	—	8.8	2.9	
	4. 東京オリンピック以後	160 100.0	45.6	44.4	10.0	6.8	6.8	19.2	12.3	21.9	9.6	1.4	4.1	2.7	11.0	2.7	8.2	—
小 計		447 100.0	43.2	46.3	10.5	9.8	10.4	19.7	11.9	15.5	5.2	3.1	6.7	3.1	9.8	3.1	10.9	0.5
女	1. 戦前	15 100.0	20.0	46.7	33.3	—	—	33.3	—	33.3	—	—	—	—	—	—	—	33.3
	2. 戦後	15 100.0	26.7	46.7	26.7	—	—	25.0	—	25.0	25.0	—	—	—	—	25.0	—	—
	3. 東京オリンピック	11 100.0	18.2	45.5	36.4	—	50.0	—	—	50.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	4. 東京オリンピック以後	35 100.0	22.9	65.7	11.4	37.5	—	25.0	—	25.0	—	—	12.5	12.5	—	—	—	—
小 計		76 100.0	22.4	55.3	22.4	17.6	5.9	23.5	—	29.4	5.9	5.9	5.9	5.9	—	5.9	5.9	5.9
計		523 100.0	40.2	47.6	12.2	10.5	10.0	20.0	11.0	16.7	5.2	3.3	6.2	3.3	9.5	2.9	10.5	1.0

表39 オリンピックの受けとめ方(%)

性別	時代区分	内 容	① オリンピックの受けとめ方			② 「1. 変えた方がよい」の内容										
			1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
			変えた方がよい	今のままで良い	無記不明	オリンピック精神	勝つことの意義	華美ショー化抑制	政治的色彩排除	人種差別排除	I O C の改善	オリンピック化の	オリリンピックの	その他	不 明	無 記 不 明
男	1. 戦 前	108 100.0	38.0	49.1	13.0	29.3	4.9	24.4	34.1	—	4.9	4.9	4.9	4.9	7.3	—
	2. 戦 後	108 100.0	20.4	67.6	12.0	31.8	—	9.1	31.8	—	4.5	9.1	—	13.6	9.1	—
	3. 東京オリンピック	71 100.0	31.0	62.0	7.0	18.2	13.6	13.6	36.4	—	—	4.5	—	18.2	4.5	4.5
	4. 東京オリンピック以後	160 100.0	19.4	69.4	11.3	16.1	16.1	12.9	38.7	—	—	—	—	19.4	6.5	—
	小 計	447 100.0	26.0	62.9	11.2	24.1	8.6	16.4	35.3	—	2.6	4.3	1.7	12.9	6.9	0.9
女	1. 戦 前	15 100.0	33.3	40.0	26.7	40.0	20.0	—	60.0	—	—	—	—	—	—	—
	2. 戦 後	15 100.0	13.3	53.3	33.3	50.0	—	50.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	3. 東京オリンピック	11 100.0	9.1	54.5	36.4	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—
	4. 東京オリンピック以後	35 100.0	20.0	60.0	20.0	14.3	—	28.6	57.1	14.3	—	—	—	14.3	—	—
	小 計	76 100.0	19.7	53.9	26.3	26.7	6.7	20.0	46.7	13.3	—	—	—	6.7	—	—
計		523 100.0	25.0	61.6	13.4	24.4	8.4	16.8	36.6	1.5	2.3	3.8	1.5	12.2	6.1	0.8

男子62%, 女子71%のものが「恵まれた」と答えている(表33, P. 36)。

エ. 国際試合の経験

男子は38%, 女子は43%のものが「恵まれた」と答えている(表33)。

オ. 適切な指導

男子は57%, 女子は71%のものが「恵まれた」と答えている(表33)。

以上を通じて一般に女子選手の方が男子選手よりも「恵まれた」条件が多いようである。

なお、男女とも経済的援助、精神的援助、国際試合経験などは、練習時間や適切な指導条件よりもやや不十分であったという印象を受ける。

また、東京オリンピック大会のときは、他のオリンピックの大会のときよりも、精神的援助を除けば、経済的にも、練習時間にも、また適切な指導や国際試合経験において「恵まれた」と答えるものが多い。

(3) 能力を発揮するために最も重要と思われる条件

男女とも、約8割のものは「本人の意欲、精神力」を強調している。しかし、東京オリンピック大会後は「国際試合の経験」、「練習時間」、「指導」、「将来の保証」、「物的経済的援助」などが強調されはじめている(表34, P. 37)。

(4) 能力の発揮と金銭・物質的利益、生活保障 ア. 能力の発揮と金銭物質的利益

金銭や物質的利益があれば、もっと自分の可能性を伸ばすことができるという考え方について

男子は約半数(5割)、女子約3割程度のものが、この考え方に賛成している。しかもこの傾向は近年の大会になるほど強まる傾向を示している(表35, P. 37)。

イ. 能力の発揮と生活保障

将来の生活保証が制度化されれば、もっと自分の可能性を伸ばすことができるという意見について

男女とも約6割のものが、この意見に「賛成」している。しかもこの傾向は近年になるにつれて男子を中心に高まる傾向にある(表35)。

(5) 一流選手の養成について

男女とも約7割は「変えた方がよい」と答えている。とくに最近この傾向は高まる傾向にある。

その内容は、かなり多様化の傾向を示しているが、とくに、男子では、「国や団体からの援助」、「選手の将来の保証」、「精神的・物質的援助」、「きびしい選手養成」、「指導者の養成確保」などが高率を示している。女子では「国や団体からの援助」、「一貫した指導体制」、「選手の将来の保証」、「底辺の拡大」、「選手づくり」など(表36, P. 38)。

(6) わが国のスポーツ政策について

男子では約7割、女子では約6割と過半数のものが、わが国のスポーツ政策に対して要望と意見をもっている。

その主な内容は、男女とも「選手生活の保証」、「国家的援助の増大」、「スポーツ行政の改善」、または「一貫したスポーツ行政」、「施設の拡充」などをあげることができる(表37, P. 39)。

(7) アマチュア制度について

男子では43%、女子では20%のものがアマチュア制度を「変えた方がよい」と答えている。しかも、この傾向は最近になるに従ってふえる傾向にある。

その主な内容は、男子は「アマチュア制度の緩和」、「金銭的援助を認める」、「柔軟性をもたせる」など、女子では「金銭的援助を認める」、「アマチュア制度の緩和」などが比較的高率を示している(表38, P. 40)。

(8) オリンピックのあり方について

男子では約26%、女子では約20%のものがオリンピックの在り方を「変えた方がよい」と答えている。その内容として、男女とも「オリンピック精神の重視」、「政治的色彩の排除」、「華美・ショー化の抑制」などをあげているものが多い(表39, P. 41)。

IV 調査結果の要約

今回の調査結果で明らかになったいくつかの観点を明示すると次のとおりである。

1. わが国のオリンピック選手は、一般に、その出生地は全国的にちらばっているが、オリンピックの出場時には、東京を中心に都市に集まっ

ており、出場後も都市で生活している者が多い。

2. わが国のオリンピック選手は、一般に学生と大企業従事者で占められているが、最近学生の占める割合が減少して、大企業従事者が優位を占めつつある。
3. オリンピック選手になる社会的条件として、家族のもつ意味は余り大きくなく、その集団基盤は、強い、または優秀選手を生み出した伝統のある私立大学の運動部、大企業の運動部が中心となっており、しかも有能な指導者（オリンピック選手または、一流選手経歴者）のもとで、かなり厳しいトレーニングを積んでいることがわかる。
4. オリンピック選手は、種目によっても異なるが、一般に15才頃から練習を始めて選手になるまでに約7～8年の年が必要のようである。
5. オリンピック選手になるためには、一般に、年10カ月（約300日）位の練習が必要であり、しかも1日の練習時間量は平均約4時間位（多いところでバレーボールの6～7時間、少ないところで陸上、サッカー、ボクシング、ウェイトリフティングなどの約2～3時間位）が必要であり、さらに、年間の合宿日数も4～5カ月（120～150日）に及んでいる。しかも、この傾向は戦前に比べて、近年ますます増加の傾向を示している。
6. そのため、選手たちは授業（または勤務）時間の便宜供与や若干の援助金ももらっているものの、男子では、「授業」（または勤務）、「経済的負担」「技術の向上」などで悩み、女子では、「技術の向上」、「練習上の人間関係」などで悩む者が多い。
7. オリンピック出場にあたって、約半数（50～60%）の者は、後援会や協賛会、寄付金、競技団体からの補助、公費などの資金援助を受けているが、「家族の負担」（自己資金）もかなり大きい。
8. オリンピックに出場したことの社会的影響については、
 - (1) 人生については選手の過半数はその積極的効果を認め
 - (2) 家庭生活の影響については、その効果を認

める者は35%から40%程度

- (3) 人間関係については、男子56%、女子34%
 - (4) 職業生活面では男女とも約2割程度
 - (5) 学業生活では、10～15%程度しかその効果性を認めていない。
- オリンピックに出場したことの社会的影響では、人生経験と人間関係を除けば、学校生活や職業生活、学業生活面にあまり大きい社会的影響をもたらしていないことがうかがわれる。
9. オリンピック選手の出場後の社会的寄与では、男子約6割、女子約5割の者が「スポーツ指導」や「スポーツ団体の役員」などで寄与しているが、残りの男子4割、女子の5割は社会的寄与をしていない点が問題である（オリンピック選手の活かし方をめぐって）。
 10. 最後にオリンピック選手の意識をめぐるとして
 - (1) 自分がオリンピック選手になれた要因を男女とも、約4割の人は「素質」によるものとし、残りの6割は「練習」のたまものと考えている。その点で、選手の約9割は「本人の努力」を強調するが、一方において、最近の傾向では、オリンピック選手になるための社会的条件として、精神的援助や経済的援助を求める声も強い。
 - (2) 自分自身の選手生活をするうえでの社会的条件をふりかえてみると、「練習時間」や「適切な指導」はまあまあ「恵まれた」とする者が過半数を越えるが、経済的条件や精神的援助、国際試合経験などには「恵まれなかった」と答えるものが過半数を越えている。
 - (3) そのため、「もし、金銭や物質的利益が保証されたり、将来の生活が保証されれば、もっと能力が発揮できる」という考え方に賛成の者がかなり多く、特に男子ではその割合は過半数を越えている。
 - (4) それ故、現在のわが国における選手養成制度を「変えた方がよい」とする者が約7割を占め、その内容として、
 - 国や団体からの援助
 - 選手の将来の保証

○精神的、物質的援助

○きびしい選手養成

○適切な指導者の養成・確保

などをあげている。

- (5) さらに、わが国のスポーツ政策については、男子で約7割、女子で約6割の者が、「選手生活の保証」「国家的援助の増加」「スポーツ行政の改善」または「一貫したスポーツ政策」「施設の拡充」などを訴えている。
- (6) なお、アマチュアリズムをめぐる問題については、男子の約4割、女子の2割は、金銭的援助を認める制度への変革、或は現在のア

マチュア制度の緩和、または柔軟性のある取り扱いを求めている。

- (7) オリンピックのあり方についても、男子は、4人に1人（約25%）、女子5人に1人（約20%）は、「オリンピック精神の重視」「政治的色彩の排除」「華美、ショー化の抑制」などを重点に、その変革を求めている。

従来の学校と企業におんぶしたわが国の一流選手（特にオリンピック選手）の養成計画を再検討するとともに、選手生活や選手のその後の処遇をめぐる問題についても抜本的に再検討する必要がある。

オリンピック選手の社会的背景に関する調査

財団法人 日本体育協会

会 長 河 野 謙 三

I 調査のおねがい

財団法人日本体育協会では、スポーツ科学委員会が競技力向上委員会の協力を得て、「一流選手の育つ社会的背景に関する研究」というプロジェクト研究班（班長：糸野 豊，筑波大学教授）を編成し、研究を進めています。

この調査は、その研究の一環として実施するもので、わが国における一流選手が育ったその社会的背景を明らかにし、今後の一流選手養成に必要な基礎資料を得ることをねらいとしています。

オリンピックに出場された皆様方の貴重なご意見をとくに参考にしたいと思いますので、ありのままを答えて下さい。

調査の結果は統計的に処理し、上記の目的のみに活用しますので、皆様にご迷惑をおかけすることは絶対にありません。

よろしくご協力のほどお願いします。

II 記入上の注意

1. 調査の内容を一通り目を通してから答えて下さい。
2. (1) それぞれの質問には答えが用意されているものと、自由に答えを記入するものと二通りあります。
(2) 答えが用意されているものは、そのあてはまる番号を○でかこんで答えて下さい。
(3) 自由に答えを記入するところは、() の中にその内容をできるだけ簡単にまとめて、わかりやすく答えて下さい。
(4) 右欄の□欄の中には何も記入しないで下さい。

III 調査票の返送について

集計作業の都合上、記入がすみましたら、できるだけ早く同封の封筒に入れてご返送下さい。

IV 問い合わせ先

財団法人日本体育協会 スポーツ科学研究所（担当 伊 藤 静 夫）

電話番号 (03) —467—3111（代表）内線 269, 270

昭和 53 年 10 月

オリンピック選手の社会的背景に関する調査

◇ [あなたが出場したオリンピックの開催年度，大会名，開催地について]

A ☐

出場した大会の番号をすべて○でかこんで下さい。

B ☐

A 夏季大会

B 冬季大会

C ☐

- | | |
|-----------------------|------------------------------|
| 1. 第5回 1912年 スtockホルム | 1. 第2回 1928年 サンモリッツ |
| 2. 第7回 1920年 アントワープ | 2. 第3回 1932年 レーク・プラシッド |
| 3. 第8回 1924年 パリ | 3. 第4回 1936年 ガルミッシュ・パルテンキルヘン |
| 4. 第9回 1927年 アムステルダム | 4. 第6回 1952年 オスロ |
| 5. 第10回 1932年 ロサンゼルス | 5. 第7回 1956年 コルチナ・ダンペッツォ |

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 6. 第11回 1936年 ベルリン | 6. 第8回 1960年 スコー・バレー |
| 7. 第15回 1952年 ヘルシンキ | 7. 第9回 1964年 インスブルック |
| 8. 第16回 1956年 メルボルン | 8. 第10回 1968年 グルノーブル |
| 9. 第17回 1960年 ローマ | 9. 第11回 1972年 札幌 |
| 10. 第18回 1964年 東京 | 10. 第12回 1976年 インスブルック |
| 11. 第19回 1968年 メキシコ | |
| 12. 第20回 1972年 ミュンヘン | |
| 13. 第21回 1976年 モントリオール | |

◇〔あなたが初めてオリンピックに出場したときのことについて〕

1―(1)

あなたが初めてオリンピックに出場した競技名と種目名について

1―(2)―ア

1―(2)―イ

1―(2)―ウ

1―(2)―エ

1―(2)―オ

(1) 競技名 ()

(2) 競技の種目名 ()

注) 陸上競技のマラソン・100m等の種別がわかるように出場した種目を全て記入する

(3) 入賞の有無 (最もよかった成績について1つ記入する)

1―(3)―ア

1. あり(順位 位)

1―(3)―イ

2. なし

2. オリンピックに出場したときのあなた自身のことについて

(1) オリンピックに出場したときの年齢……(満 才)

2―(1)

(2) オリンピックに出場したときの職業

1. 農業

2. 林業・狩猟業

3. 漁業・水産・養殖業

4. 鉱業

5. 建設業

6. 製造業

7. 卸売・小売業

8. 金融・保険業

9. 不動産業

2―(2)

10. 運輸・通信業

11. 新聞・テレビ・ラジ

12. 電気・ガス・水道業

(新聞・テレビ・ラジオ・映画などのマスコミ関係を除く)

13. サービス業

14. 公務

15. 教員

(旅館・貸間・下宿・飲食などを含む)

(教員・警官・自衛官を除く)

16. 警官

17. 自衛官

18. その他の公務員

(旧軍人を含む)

(教員・警官・自衛官を除く)

19. 小学生

20. 新制中学生

21. 旧制中学生

(商業・工業を含む)

22. 新制高校生

23. 旧制高校・高専

24. 新制および旧制大学生

(新制工専を含む)

25. 大学院生

26. 無職

27. その他 ()

(主婦を含む)

(3) 勤務先の規模(会社、事業所に勤めている人だけ答える)

1. 大企業(従業員1,000人以上)

2. 中企業(100~999人)

3. 小企業(99人以下)

4. その他 ()

2―(2)

(4) オリンピックに出場したときの教育歴

1. 義務教育在学又は卒業

2. 中等教育在学又は卒業

2―(4)

(新制中学を含む)

(旧制中学・新制高校を含む)

3. 高等教育在学又は卒業
(大学・短大・高専・旧制高校・旧高専など)
- (5) オリンピックに出場したときのあなたの居住地

ア. _____ 都 府 道 県 2- (6) 3

- イ. 居住地の特性
- | | | | |
|-------------|-----------|---------|-------------------------------|
| 1. 市街・工業地域 | 2. 農村地域 | 3. 山間地域 | 2- (6) イ <input type="text"/> |
| 4. 海(湖・沼)地域 | 5. その他() | | |

3. (1) オリンピックに出場したときの家族(世帯主)の職業について 3- (1)

- | | | |
|-----------------------------------|-----------------|---------------|
| 1. 農 業 | 2. 林業・狩猟業 | 3. 漁業・水産・養殖業 |
| 4. 鉱 業 | 5. 建設業 | 6. 製造業 |
| 7. 卸売・小売業 | 8. 金融・保険業 | 9. 不動産業 |
| 10. 運輸・通信業 | 11. 新聞・テレビ・ラジオ | 12. 電気・ガス・水道業 |
| (新聞・テレビ・ラジオ・映画などのマスコミ関係を除く) | | |
| 13. サービス業 | 14. 公 務 | 15. 教 員 |
| (旅館・貸間・下宿・飲食などを含む) (教員・警官・自衛官を除く) | | |
| 16. 警 官 | 17. 自衛官(旧軍人を含む) | 18. その他の公務員 |
| (教員・警官・自衛官を除く) | | |
| 19. 無 職(主婦を含む) | 20. その他() | |

- (2) 家族(世帯主)の職業上の地位について 3- 2

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 自営・企業主 | 2. 管理的立場(校長・教頭・学部長を含む) |
| 3. 一般従業員(普通の教員・会社員を含む) | 4. 臨時雇い |
| 5. 無職(主婦を含む) | 6. その他() |

4. あなたの父親と母親のスポーツ歴について

- (1) 父親のスポーツ歴

ア. スポーツ歴の有・無 4- (1)-ア

- | | | |
|--------|--------|-------------------------------|
| 1. あ り | 2. な し | 4- (1)-イ <input type="text"/> |
|--------|--------|-------------------------------|

イ. 1. 「あり」に答えた人はそのスポーツの種目名() 4- (1)-ウ

ウ. そのスポーツで最もよかった成績

- | | | |
|------------|-----------|-------------|
| 1. 国際大会出場 | 2. 全国大会出場 | 3. 都道府県大会出場 |
| 4. 市町村大会出場 | 5. その他() | 6. 不 明 |

- (2) 母親のスポーツ歴

ア. スポーツ歴の有・無 4- (2)-ア

- | | | |
|--------|--------|-------------------------------|
| 1. あ り | 2. な し | 4- (2)-イ <input type="text"/> |
|--------|--------|-------------------------------|

イ. 1. 「あり」に答えた人はそのスポーツの種目名() 4- (2)-ウ

ウ. そのスポーツで最もよかった成績

- | | | |
|------------|-----------|-------------|
| 1. 国際大会出場 | 2. 全国大会出場 | 3. 都道府県大会出場 |
| 4. 市町村大会出場 | 5. その他() | 6. 不 明 |

- (3) 上記以外にあなたの家族や親類の中に国体などの全国大会に出場したすぐれたスポーツ選手がいましたか。

- | | | |
|--------|----------|-----------------------------|
| 1. い た | 2. いなかった | 4- (3) <input type="text"/> |
|--------|----------|-----------------------------|

5. (1) オリンピック選手として出場した競技種目を何才頃から始めましたか 5—(1)
- (才) 頃
- (2) その競技種目を始めるようになったいきさつについて (その主なものを 1 つだけ選ぶ) 5—(2)
1. 親に勧められて 2. 兄弟に勧められて 3. 友人に勧められて
4. 先生に勧められて 5. OBなどの知人に勧められて 6. テレビをみて
7. 新聞、雑誌などを読んで 8. 競技会または試合をみて 9. その他 ()
- (3) その競技種目を始めるようになった動機について (主なものを 1 つだけ) 5—(3)
1. 好きだから 2. 自分の能力を見込んで
3. 一流選手になりたかったから 4. ただなんとなく
5. その他 ()
- (4) その競技種目をオリンピックをめざして本格的にやるようになったのは何才頃ですか 5—(4)
- (才) 頃
- (5) その競技種目において何才頃から全国的に頭角をあらわし、注目をあびるようになりましたか 5—(5)
- (例えば全国大会に優勝又は入賞して周囲から注目されはじめた年令)
(才) 頃
6. (1) オリンピック選手として選ばれた競技種目を主に次のどこで練習しましたか (その主なものを 1 つだけ選ぶ)
1. 国・公立の学校運動部 6—(1)
2. 私立の学校運動部
3. 職場の運動部
4. 地域社会の半公共的なスポーツクラブ (例えば公立体育館などのスポーツクラブ)
5. 私的なスポーツクラブ (例えば藤田ドルフィンクラブなど)
6. 営利的なスポーツクラブ (例えば品川アイスケートリンクなど)
7. その他 ()
- (2) そのクラブ (学校の運動部を含む) のスポーツにおける伝統 6—(2)
1. オリンピック選手が育ったことのあるきわめて伝統のあるクラブ
2. オリンピック選手になれなかったが、一流の選手 (全国大会の一流選手など) が育った、かなり伝統のあるスポーツクラブ
3. その他 ()
- (3) あなたがオリンピック選手になったときどの程度練習しましたか (選手決定までの約 1 年間について答えて下さい)
- ア. 年間の練習日数 約 (日) 6—(3)—ア
- イ. 1 日の練習時間量 約 (時間) 6—(3)—イ
- ウ. 延合宿日数 約 (日) 6—(3)—ウ
- エ. 試合日数 ① 国 内 (日) 6—(3)—I—①
- ② 国 外 (日) ③ 計 (日) 6—(3)—I—②
- (4) 授業 (勤務) 時間の便宜について (選手決定までの約 1 年間について答えて下さい) 6—(3)—I—③
- ア. 練習について……1. 特に考慮してもらった 2. 考慮してもらった 6—(4)—ア
3. 考慮してもらわなかった 4. その他 ()
- イ. 試合について……1. 特に考慮してもらった 2. 考慮してもらった 6—(4)—イ
3. 考慮してもらわなかった 4. その他 ()
- ウ. 合宿について……1. 特に考慮してもらった 2. 考慮してもらった 6—(4)—ウ
3. 考慮してもらわなかった 4. その他 ()
- (5) 奨励金 (栄養費、学費、授業料免除など) について

(選手決定までの約1年間について答えて下さい)

ア. 有 無……1. あり な し 6-(5)-ア ☐

イ. その内容 (1. 「あり」に答えた人だけ) 6-(5)-イ ☐

()

ウ. その金額 () 円) 6-(5)-ウ ☐

(6) 選手生活をする上で特に悩んだこと

ア. 有 無……1. あり な し 6-(6)-ア ☐

イ. 1. 「あ り」に答えた人は次のどれですか (その主なものを1つだけ選ぶ) 6-(6)-イ ☐

1. 進 学 2. 学 業 (仕事) 3. 人生に対する不安

4. 経済的負担 5. 社会的期待の重さ 6. 技術の向上

7. 練習上の人間関係 8. 社会生活での人間関係 9. 家庭生活での人間関係

10. その他 ()

◇ [初めてオリンピック選手として出場した種目にもっとも影響の大きかった指導者について]

1. 指導者の有無 1 ☐

1. あり 2. な し

2. その指導者のスポーツ歴 (1. 「あり」の回答者のみ) 2 ☐

1. オリンピック出場者

2. オリンピック出場者ではないが、全国的にみて一流選手の経歴をもつ人

3. 上記以外のスポーツ経験者

4. その他 ()

3. その人に指導を受けるようになったいきさつ 3 ☐

1. クラブの活動を通して 2. 協会 (外部) からの派遣を通して

3. 個人的な結びつき 4. その他 ()

4. その指導者からどのような指導を受けましたか 4-(1) ☐

(1) 指導の形態

1. ひとり対ひとり (マン・ツー・マン方式) 2. グループまたはクラブ活動として別に他の人達と区別することなく指導された

3. 特に優秀な選手を集めて指導するその中で 4. その他 ()
指導された

(2) 指導の主な特徴 4-(2) ☐

1. 専 制 的 2. 民 主 的

3. 放 任 的 4. そ の 他 ()

(3) 指導者との結びつき (その主なものを1つだけ選ぶ) 4-(3) ☐

1. 親子同然の結びつき 2. 兄弟・友人のような結びつき

3. 偉大な崇拜者として 4. 技術上の助言者として 5. その他 ()

◇ [初めてオリンピックに出場したときの周囲の理解と協力について]

1. オリンピック出場にあたってどれ位の経費が必要でしたか (旅費、宿泊費、支度金などを含む) 1 ☐

(計 円)

2. 上記オリンピック出場にあたっての必要な資金の援助

(1) 有 無 1. あ り (その金額 円) 2. な し

(2) 1. 「あり」に答えた人は援助の程度

1. 全面的援助 (7割以上) 2. かなり大きい援助 (4～6割)
3. 一部援助 (3割以下) 4. その他 ()

(3) 前問(2)で1. 2. 3. に答えた人は、その資金を次のどこから、どれ位もらいましたか。次欄の該当する項目のすべての番号を○でかこみ、その金額を具体的に () の中に記入して下さい。

資金の出たところ	そ の 金 額
1. 公 費	(円)
2. 競技団体の補助	(円)
3. 後援会または協賛会から	(円)
4. 有志の寄付金	(円)
5. 指導者個人から	(円)
6. 家族の負担	(円)
7. その他 ()	(円)

2-(3)-ア ☐

2-(3)-1 ☐

2-(3)-2 ☐

2-(3)-3 ☐

2-(3)-4 ☐

2-(3)-5 ☐

2-(3)-6 ☐

2-(3)-7 ☐

◇ 「オリンピックに出場したことの影響について」

注 プラス面, マイナス面, 両方ある人は両方に記入して下さい。

1. オリンピックに出場したことが、あなたの人生にどのように影響しましたか。

1-ア ☐

1. プラスになった /その具体的内容

2. マイナスになった /その具体的内容

1-1 ☐

3. どちらともいえない

1-2 ☐

2. オリンピックに出場したことが、あなたの家庭生活にどのように影響しましたか。

2-ア ☐

1. プラスになった /その具体的内容

2-1 ☐

2. マイナスになった /その具体的内容

2-2 ☐

3. どちらともいえない

3. オリンピックに出場したが、あなたの友達・社会関係(人間関係)にどのように影響しましたか。 3-ア ☐

1. プラスになった /その具体的内容

3-1 ☐

2. マイナスになった /その具体的内容

3-2 ☐

3. どちらともいえない

4. オリンピックに出場したが、あなたの職業（入社・昇進等を含む）にどのように影響しましたか。4－ア ☐

- | | | |
|-------------|---------|------------------------------|
| 1. プラスになった | その具体的内容 | 4－1 ☐ |
| 2. マイナスになった | | |

3. どちらともいえない

4. 非 該 当

5. オリンピックに出場したことが、あなたの学業生活（進学等を含む）にどのように影響しましたか。5－ア ☐

- | | | |
|-------------|---------|------------------------------|
| 1. プラスになった | その具体的内容 | 5－1 ☐ |
| 2. マイナスになった | | |

3. どちらともいえない

4. 非 該 当

◇ 「社会的寄与について」

1. オリンピックに出場したことを生かして社会的に何か寄与していますか。

1－(1) ☐

(1) 有 無 1. あり 2. なし

(2) 1. 「あり」に答えた人はその内容はどんなものですか（該当するものすべてを○でかこむ） 1－(2) ☐

- | | | |
|--------------|----------------|-----------|
| 1. スポーツの指導 | 2. スポーツクラブの経営 | 3. マスコミ関係 |
| 4. スポーツ団体の役員 | 5. その他（ ） | |

◇ 「次のことについてあなたはどのように思いますか。」

1. 一流選手になるために素質と練習のどちらがより重要な要因となると思いますか。

1 ☐

1. 素 質 2. 練 習

2. 一流選手になるために本人の努力と社会的援助のどちらがより重要な要因となると思いますか。2 ☐

1. 本人の努力 2. 社会的援助

3. 一流選手になるために経済的・物的援助と精神的援助のどちらがより重要な要因となると思いますか。3－ ☐

1. 経済的・物的援助 2. 精神的援助

4. スポーツにおいて自己の最高の能力を発揮するためにはさまざまな条件が必要と思いますが、あなたにとって以下の条件は十分なものでしたか。

- | | | | | |
|-------------|-----------|--------|------------|--------------------------------|
| (1) 経済的条件 | ……1. 恵まれた | 2. 普 通 | 3. 恵まれなかった | 4－(1) ☐ |
| (2) 精神的援助 | ……1. 恵まれた | 2. 普 通 | 3. 恵まれなかった | 4－(2) ☐ |
| (3) 練習時間 | ……1. 恵まれた | 2. 普 通 | 3. 恵まれなかった | 4－(3) ☐ |
| (4) 国際試合の経験 | ……1. 恵まれた | 2. 普 通 | 3. 恵まれなかった | 4－(4) ☐ |
| (5) 適切な指導 | ……1. 恵まれた | 2. 普 通 | 3. 恵まれなかった | 4－(5) ☐ |

5. スポーツにおいて最高の能力を発揮するために最も重要と思われるものをつだけ選んでその番号○をでかこんで下さい。

5 ☐

- | | | |
|--------------|-----------------------|----------|
| 1. 本人の意欲と精神力 | 2. 経済的物的援助 | 3. 精神的援助 |
| 4. 国際試合の経験 | 5. 練習時間 | 6. 指導 |
| 7. 将来の保証 | 8. その他 () | |

6. あなたはもしスポーツによって金銭や物質的利益が直接与えられるならば、自分の可能性をもって伸ばせるかもしれないという意見についてどう思いますか。

6 ☐

- | | | |
|-------|-------|--------------|
| 1. 賛成 | 2. 反対 | 3. どちらともいえない |
|-------|-------|--------------|

7. あなたはもしスポーツに専念することが将来の社会生活を保障するように制度化されていれば、もっと自分の可能性を伸ばせるという意見についてどう思いますか。

- | | | | |
|-------|-------|--------------|----------------------------|
| 1. 賛成 | 2. 反対 | 3. どちらともいえない | 7 ☐ |
|-------|-------|--------------|----------------------------|

8. わが国の一流選手の養成についてどう思いますか。

8-ア ☐

1. 変えたほうがよい / 具体的意見

8-イ ☐

2. 今のままでよい

9. わが国のスポーツ政策に特に望むことがありますか。

9-ア ☐

1. あ り / 具体的意見

9-イ ☐

2. な し

10. 現在のアマチュア制度についてどう思いますか。

10-ア ☐

1. 変えたほうがよい / 具体的意見

10-イ ☐

2. 今のままでよい

10. 現在のアマチュア制度についてどう思いますか。

10-ア ☐

1. 変えたほうがよい / 具体的意見

10-イ ☐

- 今のままでよい

11. 今日のオリンピックそのもののあり方についてどう思いますか。

11-ア ☐

1. 変えたほうがよい / 具体的意見

11-イ ☐

2. 今のままでよい

◇ [現在のあなた自身のことについて]

(昭和53年10月1日現在でお答え下さい)

1. 氏 名 _____

2. 性 別 1. 男 子 2. 女 子 2 ☐

3. 年 令 (1) 生年月日 明治
大正 年 月 日生 3—(2) ☐
昭和

(2) 満 (才)

4. 結 婚 1. 未 婚 2. 既 婚 4 ☐

5. (1) 職 業 5—(1) ☐

1. 農 業 2. 林業・狩猟業 3. 漁業・水産・養殖業

4. 鉱 業 5. 建設業 6. 製造業

7. 卸売・小売業 8. 金融・保険業 9. 不動産業

10. 運輸・通信業 11. 新聞・テレビ・ラジオ・映 12. 電気・ガス・水道業
(新聞・テレビ・ラジ 画などのマスコミ関係
オ・映画などのマスコ ミ関係を除く)

13. サービス業 14. 公 務 15. 教 員
(旅館・貸間・下宿・ (教員・警官・自衛官を除く)
飲食などを含む)

16. 警 官 17. 自衛官 (旧軍人を含む) 18. その他の公務員
(教員・警官・自衛官を除く)

19. 小学生 20. 新制中学生 21. 旧制中学生
(商業・工業を含む)

22. 新制高校生 23. 旧制高校・高専 24. 新制および旧制大学生

25. 大学院生 26. 無 職 (主婦を含む) 27. その他 ()

(2) 職業上の地位 5—(2) ☐

1. 自営・企業主 2. 管理的立場 (校長・教頭・学部長を含む) 3. 一般従業員 (普通の教員・会社
員を含む) 4. 臨時雇い 5. 無 職 (主婦を含む) 6. その他 ()

6. 居住地 6—(1) ☐

(1) 現住所 郵便番号 (—)

都府 郡 町 番地
道県 市 区 村

(2) 出身地 6—(2) ☐

都府 郡 町
道県 市 区 村

7. 出身校名とそのときに行っていた主なスポーツ 7—(1) ☐

(1) 小学校名 都道府県 主なスポーツ 7—(2) ☐

(2) 中学校名 都道府県 主なスポーツ 7—(3) ☐

(3) 高 校 名 都道府県 主なスポーツ 7—(4) ☐

(4) 大 学 名 都道府県 主なスポーツ

8. 勤務先名 TEL 8 ☐

9. オリンピックに出場したときの職業

整理の都合上、もう一度お尋ねします。下記の該当する番号に○印をつけて下さい)

9 ☐

- | | | | |
|-----------------|---------------|-----------|----------------|
| 1. 中学生 | 2. 高校生 | 3. 大学生 | 4. 大学院生・研究生 |
| 5. 教員（小・中・高・大学） | 6. 専門的・技術的職業 | 7. 管理的職業 | 8. 事務的職業 |
| 9. 販売・サービス | 10. 農・漁・採石・採鉱 | 11. 運輸・通信 | 12. 製 造 |
| 13. 単純労務 | 14. 警官, 自衛隊員 | 15. 無 職 | 16. その他（ ） |

ご協力ありがとうございました

